

EP3

1/10 SCALE EP TOURING CAR CHASSIS KIT

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

Thank you for purchasing this Yokomo product. This high performance competition kit has been proudly manufactured by Yokomo - World Champion R/C car manufacturer. Proper assembly of this product will provide fun, safe enjoyment.

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様(中学生以下)が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

組立の注意

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスチックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

走行の注意

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。

走らせる手順

- ①タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ②スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。(送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。)
- ④受信機のスイッチをONにします。

走行終了手順

- ①スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ②バッテリーの接続を外します。
- ③送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

バッテリーの取り扱い

(バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

モーターの取り扱い

(モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかりと固定し3~5V程度でから回して下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

PRECAUTIONS FOR SAFE ENJOYMENT OF YOUR R/C CAR

For children under the age of 13, parental guidance is recommended when running.

ASSEMBLY PRECAUTIONS

- Do not assemble around small children. The parts can be dangerous if accidentally swallowed.
- Check the contents carefully before assembly. Please contact Customer Support if you happen to notice any defective or missing items.
- You will find the assembly process much easier by carefully reading through the manual, and familiarizing yourself with the instructions.
- Many different tools are required during assembly. For safety purposes, please use suitable tools. Exercise extra caution when using a sharp tool such as a hobby knife.
- Many different materials are used for the parts. Use extra care when handling parts with sharp edges, such as machined metal parts.
- When cutting plastic parts, watch for any flying parts.
- Try to assemble any rotating parts or drivetrain parts as smooth as possible.
- Bundle wires neatly away from the ground or any moving drivetrain components. Make sure that all wires are properly connected to prevent shorting.
- Unnecessary modifications may be unsafe and hinder performance.
- Always paint in a well ventilated area away from flames.

PRECAUTIONS BEFORE RUNNING

- Yokomo R/C cars are built for competition use, and some models may exceed speeds of 40km per hour. Practice common sense and run the car in open safe places, or R/C car tracks.
- Do not run the car on public roads with high amounts of traffic, or in areas that may cause an inconvenience to people in that area.
- R/C cars are controlled using a radio frequency. In a worst-case scenario, radio interferences may cause loss of control.
- If others near you are running R/C cars, confirm that they are not running on the same frequency.
- R/C cars do not like water. Avoid running on rainy days, or areas with water puddles. Exposure of the electronics to water may cause loss of control or damage to the electronics.
- The drivetrain of an R/C car consists of many moving parts like gears, belts, shafts, and tires. Avoid touching these areas when the battery is connected.
- Many parts of an R/C car will become hot after running. Allow the parts to sufficiently cool before conducting any maintenance.

BEGINNING A RUN

- ①Place the R/C car on a stand so the wheels are off the ground.
- ②Confirm that the speed controller switch is OFF, and connect the motor and battery.
- ③Extend the transmitter antenna and turn the switch ON. (It is unsafe to use a transmitter with low voltage. Make sure that the transmitter batteries are good before running)
- ④Turn the speed controller switch ON.

FINISHING A RUN

- ①Turn the speed controller switch OFF.
- ②Disconnect the battery.
- ③Turn the transmitter switch OFF, and retract the antenna.

BATTERY USAGE

(Carefully read the instruction included with the batteries.)

- When charging batteries, make sure that the surrounding area is void of anything highly flammable. Also avoid charging in high-temperature locations.
- When charging batteries, frequently monitor the charging it catch on fire. If the battery reaches 50 degrees Celcius or more, stop charging.
- Batteries will become hot after running. Continuous use of the battery pack may result in damage to the cells. Allow the battery too cool down before re-charging. Using a battery conditioner after running may prolong the life and performance of the battery.
- Please do not discard old battery packs in the trash. Although inconvenient, please locate a battery disposal center.

MOTOR USAGE

(Carefully read the instruction included with the motor.)

- Connecting a 7.2V battery directly to the motor can be very dangerous. This may cause the internal parts of the motor to break apart, causing some parts to fly out of the motor. To break-in the motor, safely secure the motor and run the motor at about 3-5V.
- Motors require periodic maintenance. Slower speeds and decreased run times may indicate a worn-out motor. Periodically clean the motor and change the brushes when needed.
- Choose a gear ratio that matches the power characteristics of the motor. Using a gear ratio unsuited to the characteristics of the motor will not only prevent the motor from performing at its optimum, but may even cause damage to the other electronics.
- Motors will generally become very hot after running. Continuous running will reduce the life of the motor. Allow the motor to sufficiently cool between each run.

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [MR-4TC BD5] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

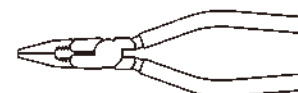
- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)
TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用 7.2V バッテリーパック
7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ
TIRES
- 走行用ボディー
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 別途用意する工具 ■

ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



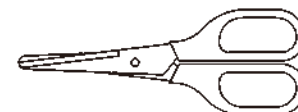
ドライバー (大, 小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



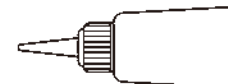
ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



カッター
HOBBY KNIFE



瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

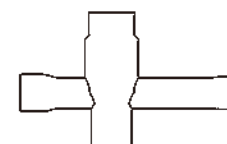
■ キットに入っている工具 ■ TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(1.5mm & 2.0mm)



ターンバックルレンチ
TURNBUCLE WRENCH



十字レンチ
NUT WRENCH

[MR-4TC BD5]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [MR-4TC BD5] will perform at its best!!

【袋①の内容】

- ×4 M3×6 皿ビス
--×1 ボール付アレンキー(2.0mm)

- ×2 ベルクランクポスト

- ×1 リヤサスマウント(F)

【袋②の内容】

- ×13 M3×6 皿ビス

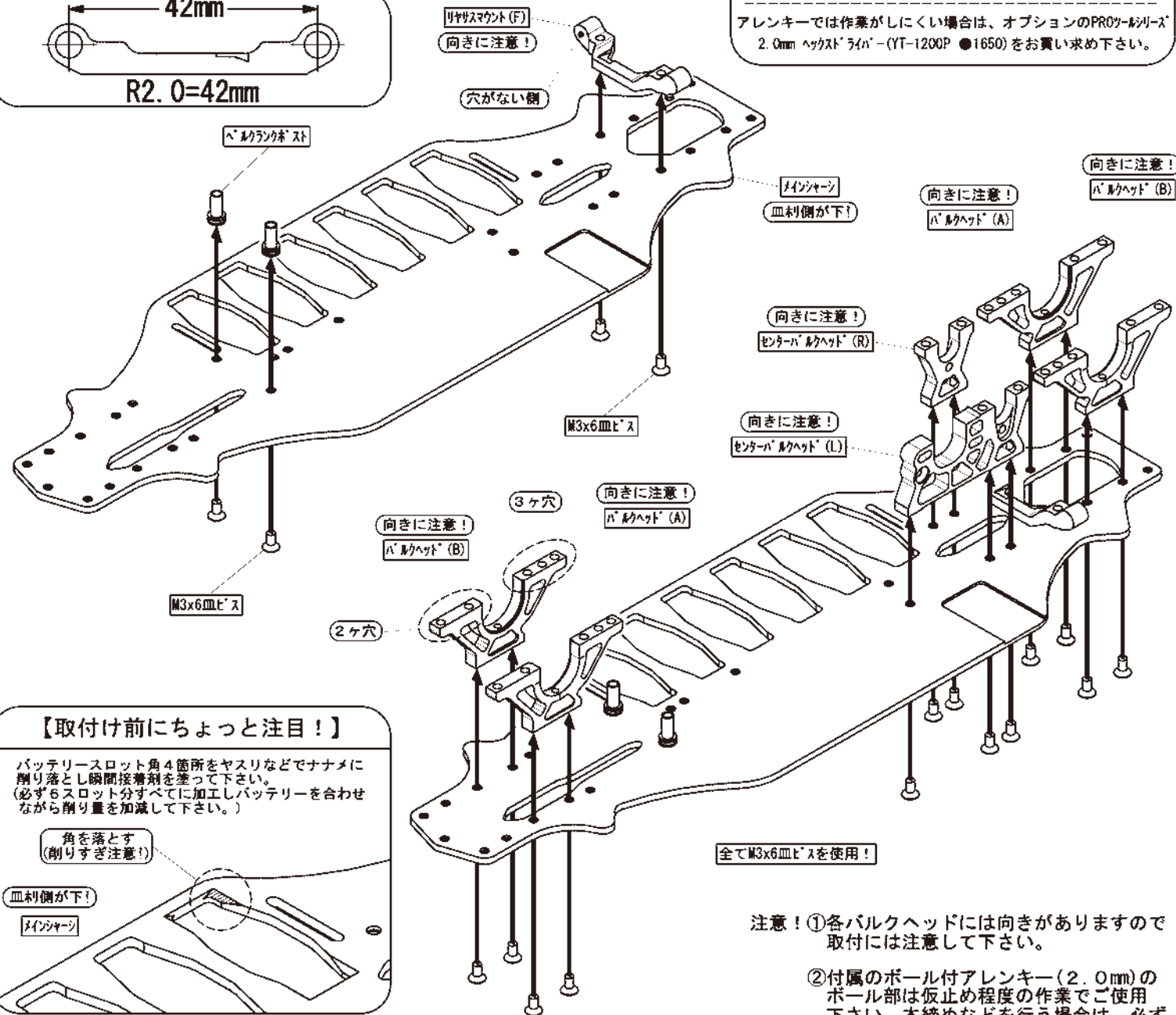
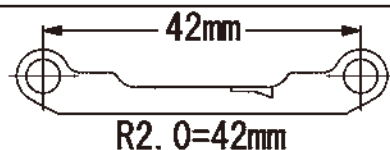
- ×2 バルクヘッドA

- ×2 バルクヘッドB

- ×1 センターバルクヘッド(L)

- ×1 センターバルクヘッド(R)

1 サスマウント、バルクヘッド、ポスト類の取付



【取付け前にちょっと注目!】

バッテリースロット角4箇所をヤスリなどでナメに削り落とし瞬間接着剤を塗って下さい。
(必ず6スロット分すべてに加工しバッテリーを合わせながら削り量を加減して下さい。)

角を落とす
(削りすぎ注意!)

皿利側が下!
メインシャシ

キット付属の皿ビス及びボタンヘッドビスは、頭の部分が6角タイプ(○)になっています。ネジを回す時は付属のアレンキー(2.0mm)をご使用下さい。

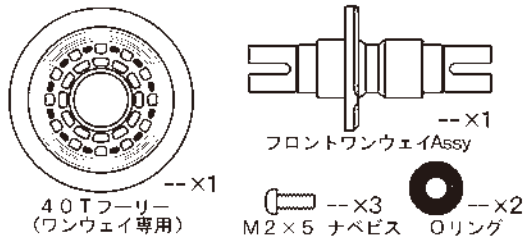
アレンキーでは作業がしにくい場合は、オプションのPROサークルズ 2.0mm ヘックスドライバー(YT-1200P ●1650)をお買い求め下さい。

注意! ①各バルクヘッドには向きがありますので取付には注意して下さい。

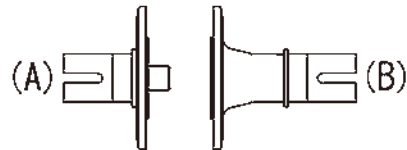
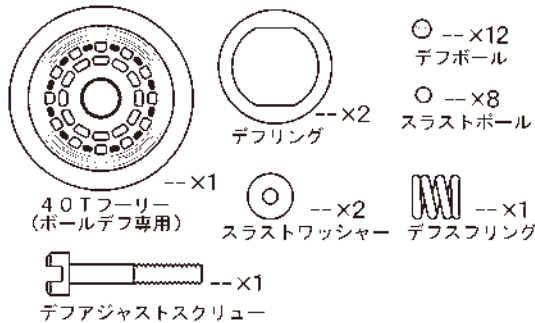
②付属のボール付アレンキー(2.0mm)のボール部は仮止め程度の作業でご使用下さい。本締めなどを行う場合は、必ず反対側フラット部で行って下さい。

【袋③の内容】※フロントワンウェイ用パーツ式、メインギヤアダプターは別袋に入っています。

【フロントワンウェイ用パーツ】

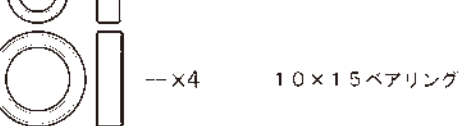
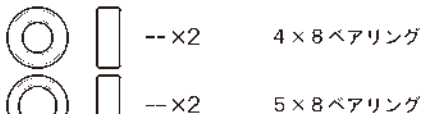
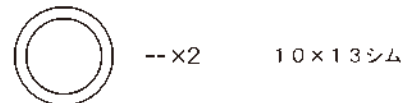


【リヤボールデフ用パーツ】

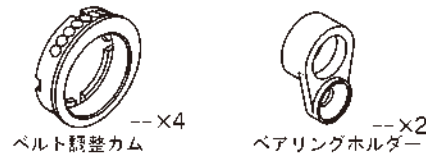
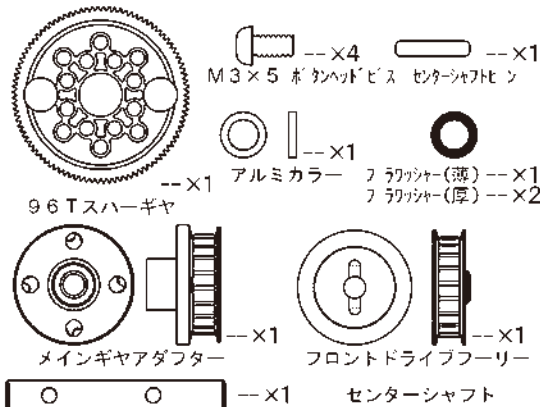


--x各1ヶ デフジョイント

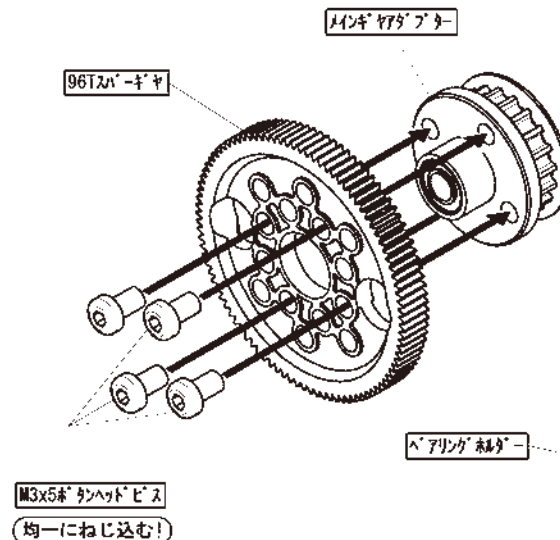
その他、デフループ(白)、ブラックグリス(黒)各1ヶ



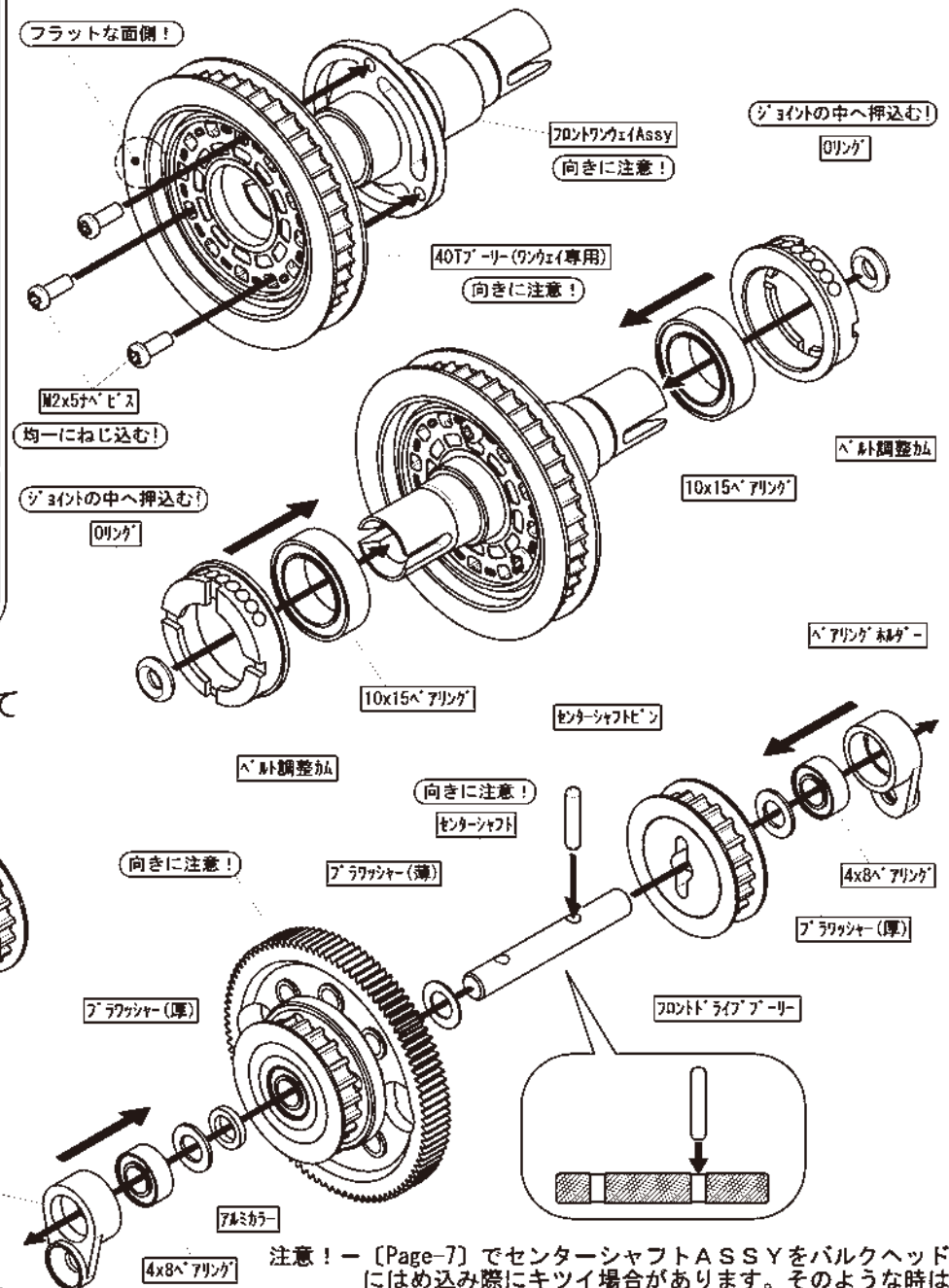
【センターシャフト用パーツ】



3 センターシャフトの組立て

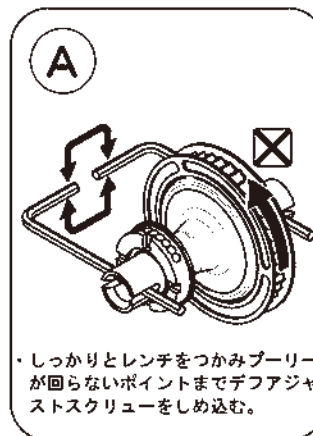
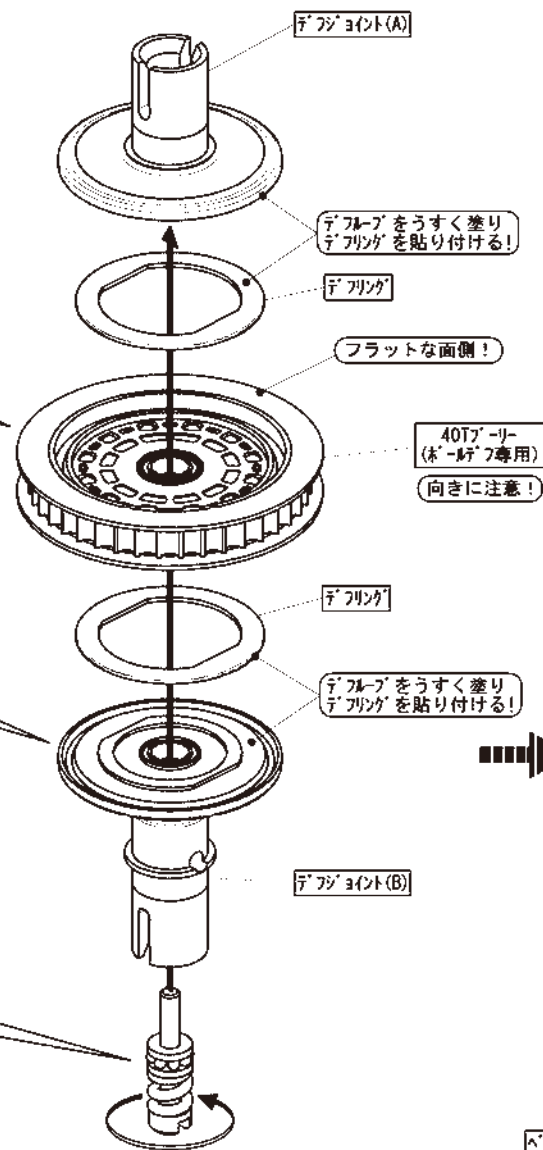
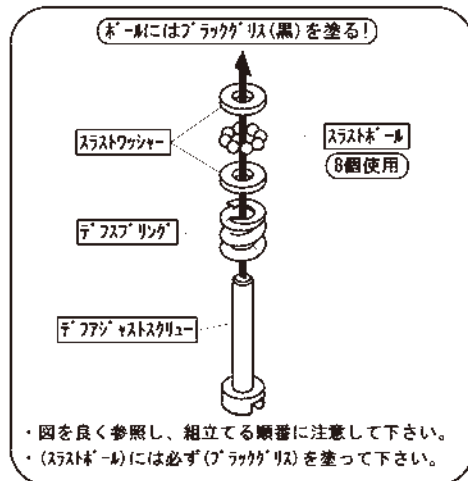
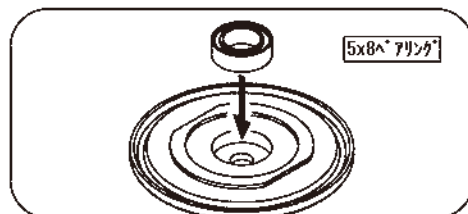
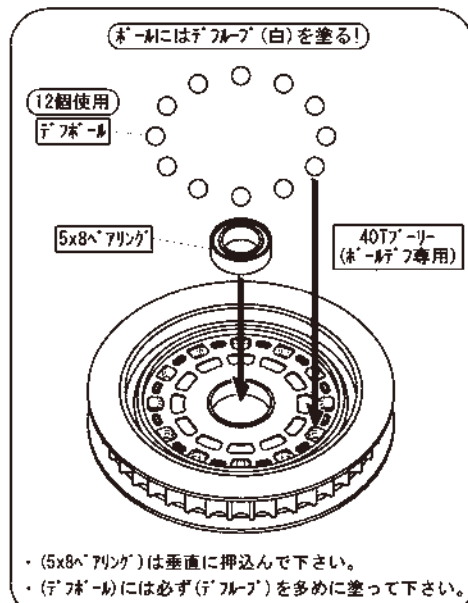


2 フロントワンウェイの組立て



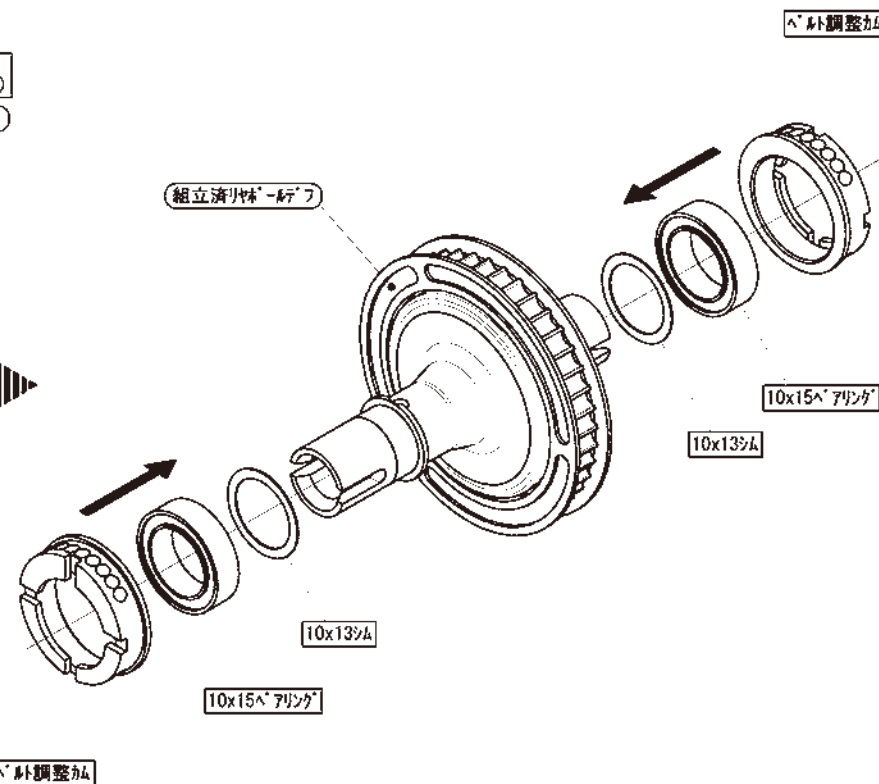
4 リヤボールデフの組立て

※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。



注意!

- ①(デフリング)、(デフボール)にはサビ止め用のオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで必ず脱脂を行って下さい。
- ②(デフボール)には(デフルーブ)を、(スラストボール)には(ブラックグリス)を必ず充填して下さい。
- ③(キャップスクリュー)を締める目安は、図(A)の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でデフプーリーが回らないポイントまで少しずつ締め込むようにして下さい。
(この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。)



【袋-④の内容】

--X1 フロントドライブベルト

--X1 リアドライブベルト

【袋-⑤の内容】

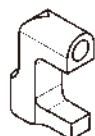
--X5 M3×6 皿ビス

--X1 M3×10 皿ビス

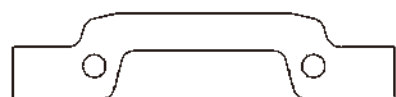
--X8 M3×8 ボタンヘッドビス

--X4 カムスプリング

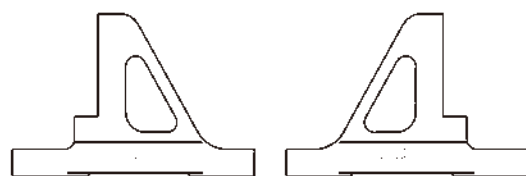
--X4 デフボール



--X1 バルクヘッドサポート



--X1 フロントサスマウント(R)



--X1 フロントバルクヘッドキャップ



--X1 リヤバルクヘッドキャップ

5 ドライブトレインの取付

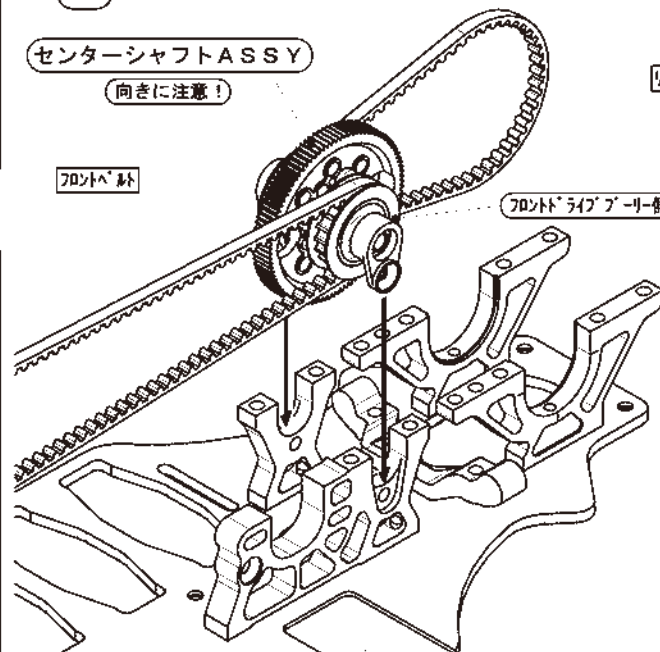
センターシャフトASSY

(向きに注意！)

リアベルト

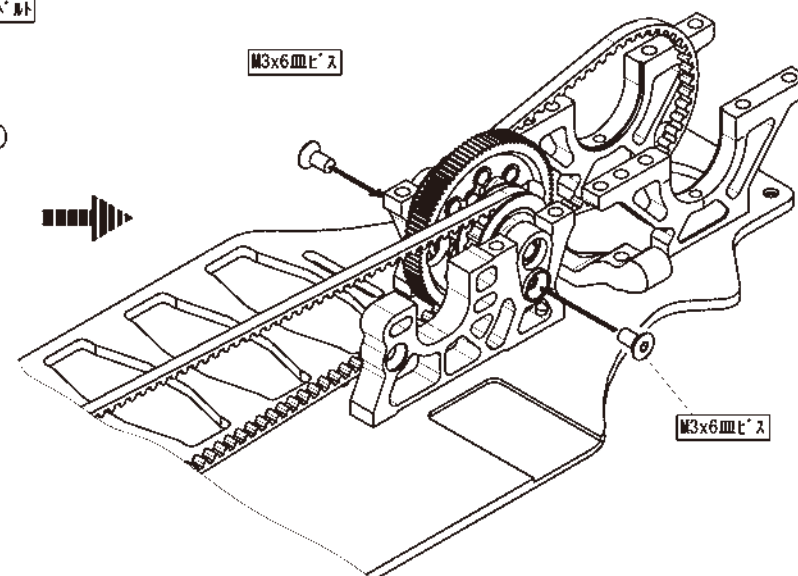
フロントベルト

フロントドライブプーリー側！

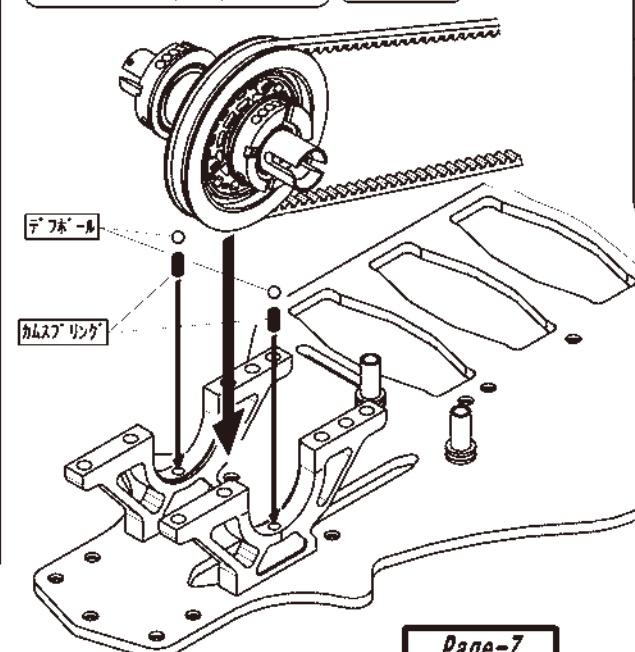


M3×6皿ビス

M3×6皿ビス



フロントワンウェイASSY (向きに注意！)



デフボール

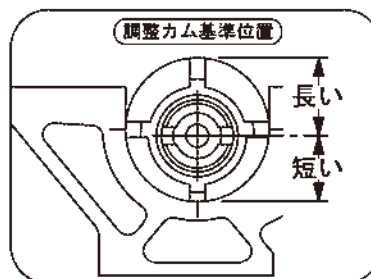
カムスプリング

調整カム基準位置

長い
短い

M3×8ボタンヘッドビス

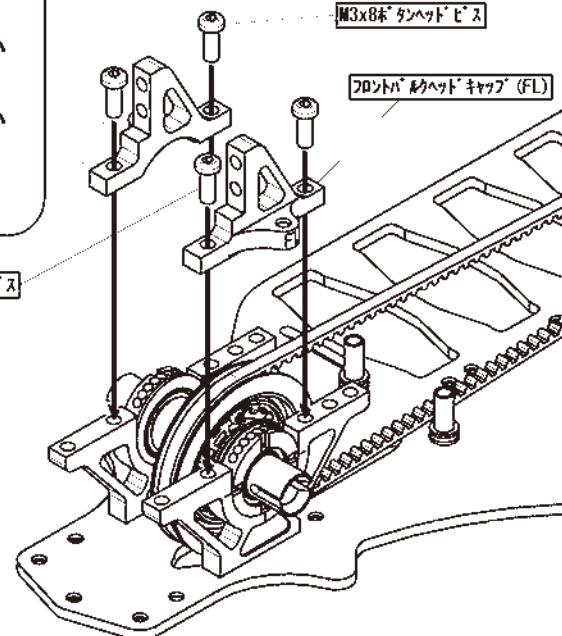
(向きに注意！)



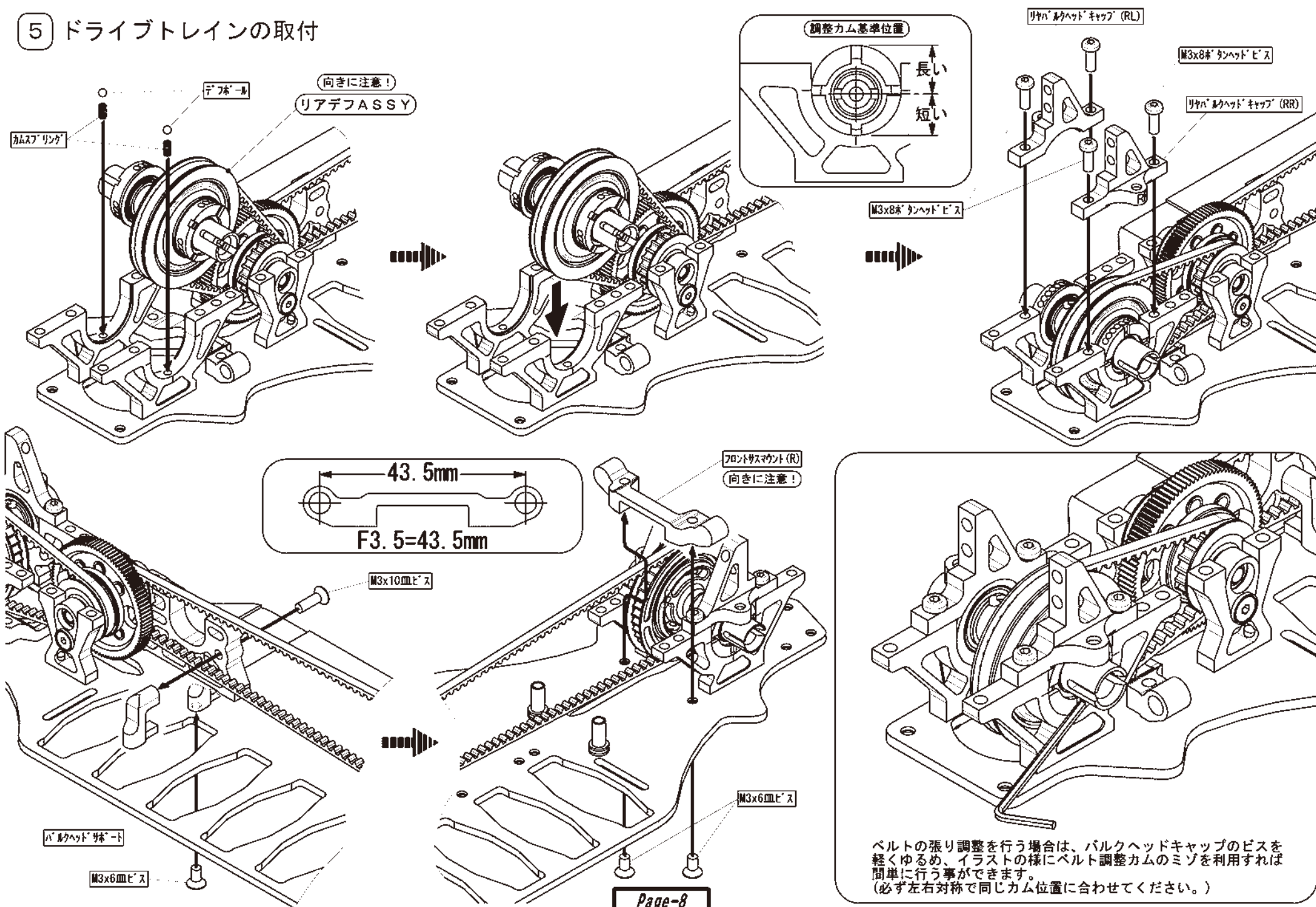
フロントバルクヘッドキャップ (FR)

M3×8ボタンヘッドビス

フロントバルクヘッドキャップ (FL)



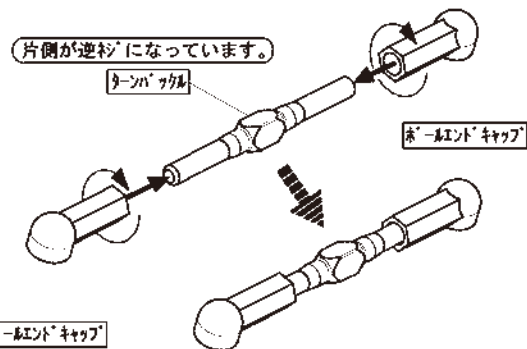
5 ドライブトレインの取付



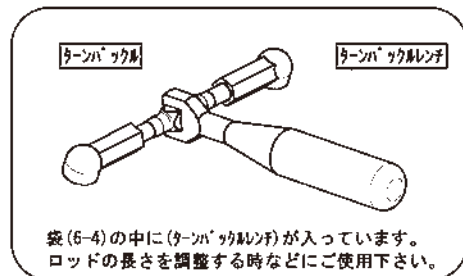
【袋⑥の内容】

- x2 M3x8 ボタンヘッドビス
- x3 M3x8 皿ビス
- x2 アルミカラー
- x2 ワッシャー
- x3 ロッドエンドボール
- x4 ボールエンドキャップ(L)
- x2 ボールエンドキャップ
- x2 27mm ターンバックル
- x1 33mm ターンバックル
- x2 ベルクランク
- x1 センターリンク
- x1 アッパーデッキホスト
- x1 ベルクランクブリッジ
- x1 十字レンチ
- x1 ターンバックルレンチ
- x2 3x6 フランジベアリング
- x4 4x8 ベアリング

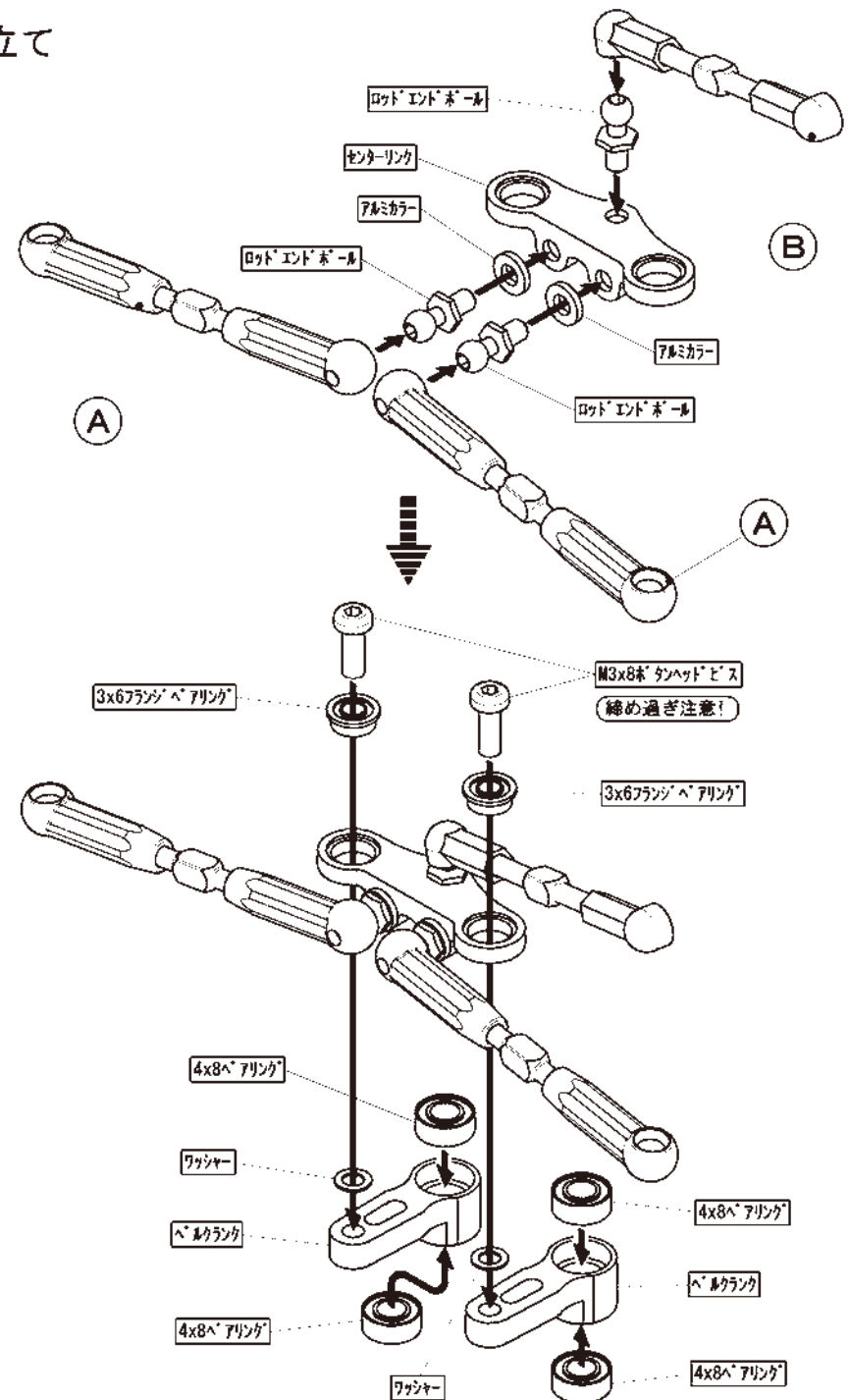
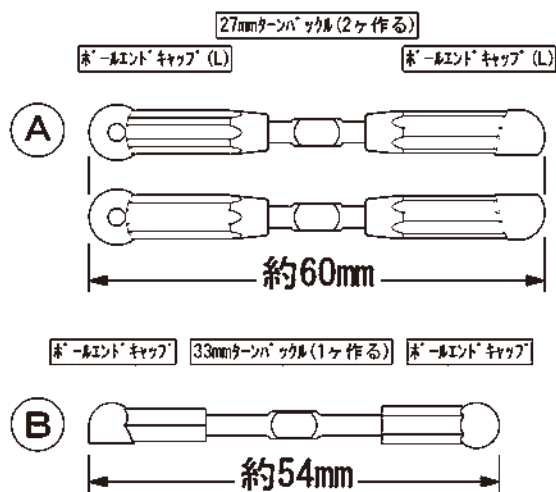
6 ステアリングリンケージの組立て

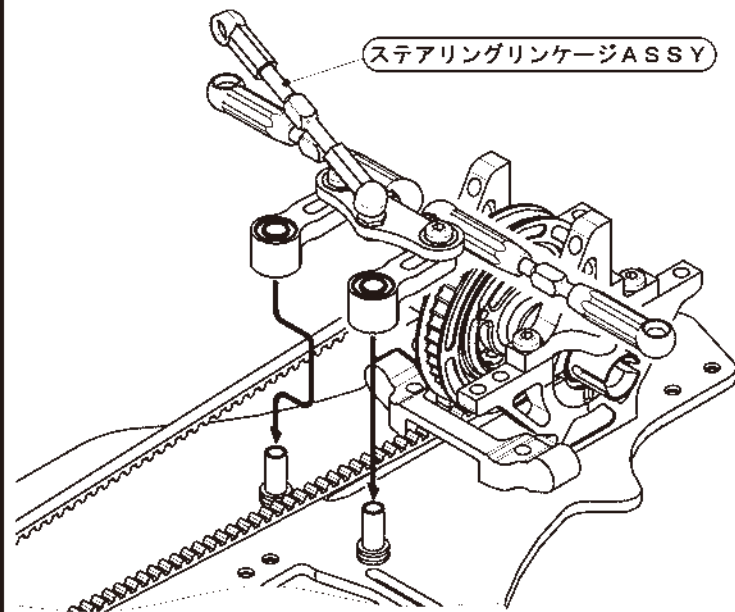


各ターンバックルの両側からボールエンドキャップをねじ込みロッドを組み立てます。

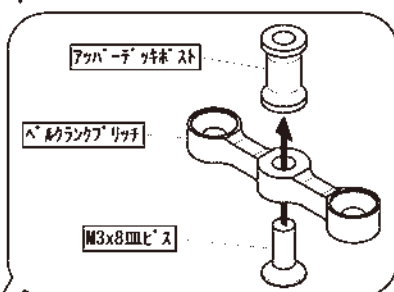


袋(6-4)の中に(ターンバックルレンチ)が入っています。ロッドの長さを調整する時などにご使用下さい。



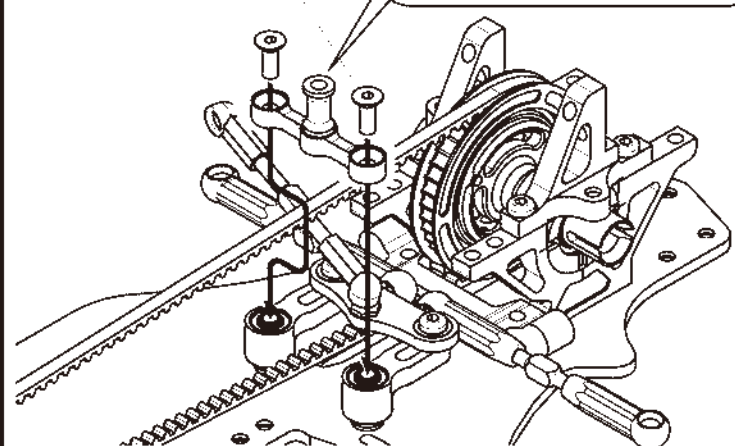


ステアリングリンケージASSY



M3x8皿ビス

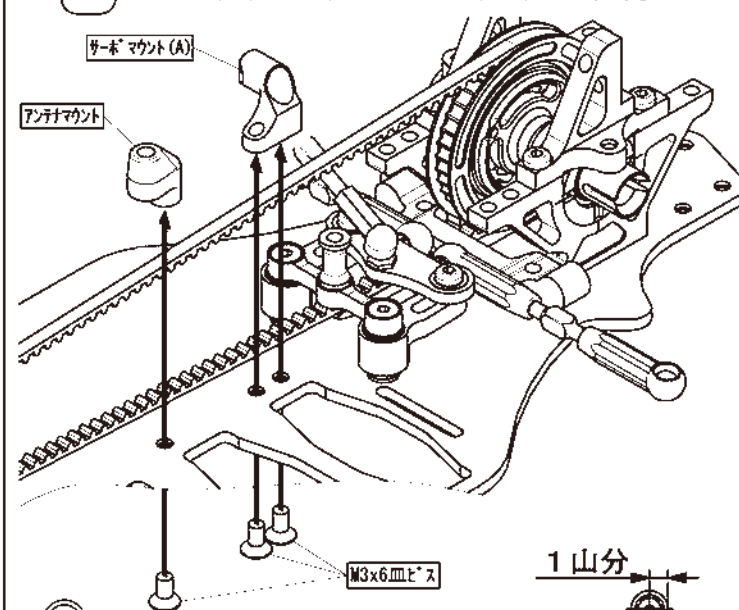
M3x8皿ビス



【袋⑦の内容】

- x13 M3x6 ボタンヘッドビス
 --x1 M3x8 ボタンヘッドビス
- x1 M3x12 ボタンヘッドビス
- x1 M3x5 皿ビス
 --x4 M3x6 皿ビス
- x1 M3 平ナット
 --x1 M3 ナイロンナット
- x1 ワッシャー
 --x1 ワッシャー (黒)
- x1 M3x10 タッピングビス (頭小)
 --x1 M2.6x10 タッピングビス
- x1 M3x10 ナベビス
- x1 ロッドエンドボール
- x1 サーボマウント (A)
 --x1 サーボマウント (B)
- x1 フロントベルトテンショナー
- x1 アンテナマウント
- x1 サーボホルン (各社用3種類入っています。)
- x1 アッパーデッキ
- その他、両面テープ1枚、サーボセイバープラパーツ
- x2 3x6ベアリング

7 サーボ、アッパーデッキの取付

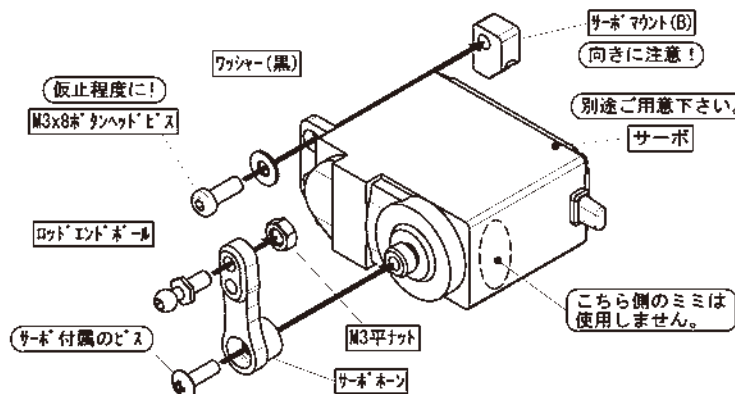


刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
JKS	JR, KO, サンワ



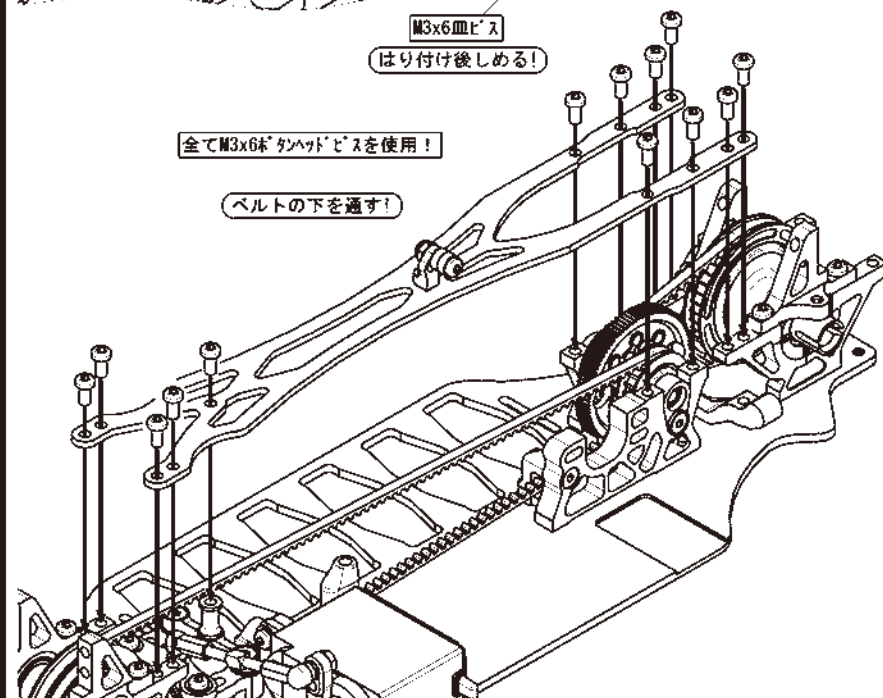
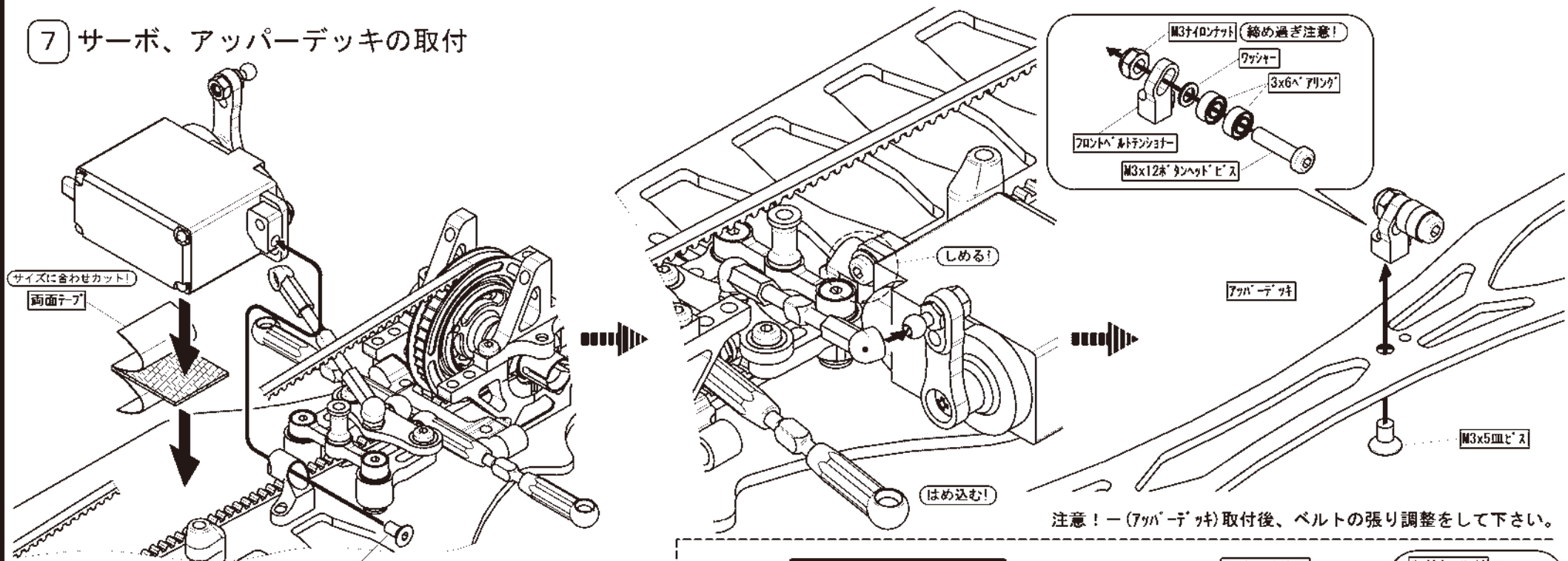
付属のサーボホルンには刻印が入っています。ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。取付の際はサーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホルンを1山分ずらして下さい。

セイバータイプのサーボホルンを使用する場合は次ページをごらん下さい。



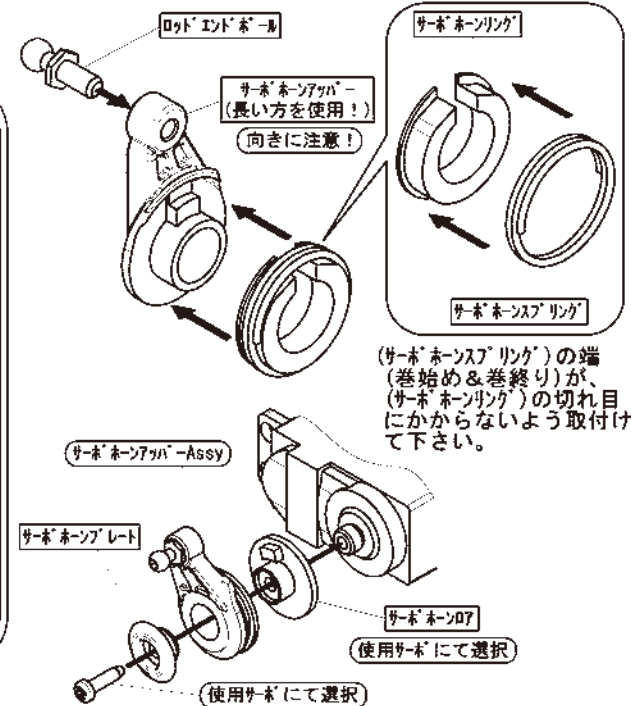
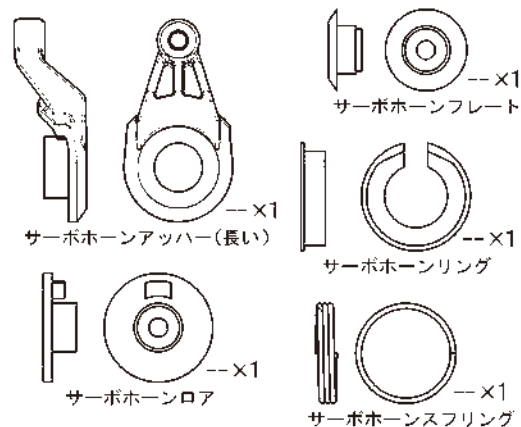
注意！(サーボホルン)を取付ける前に必ずサーボのニュートラルを出して下さい。(詳しくはプロポセットの説明書をごらん下さい。)

7 サーボ、アッパーデッキの取付



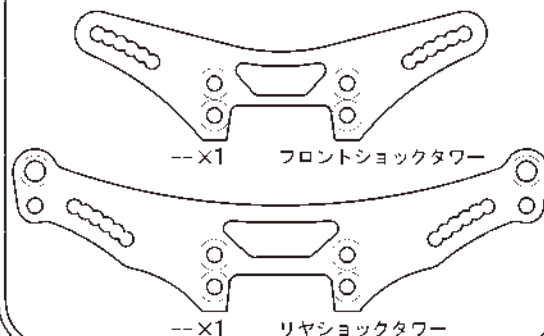
サーボセイバーの組立て

【袋⑦の内容】 [サーボセイバー用プラパーツ]



【袋-⑧の内容】

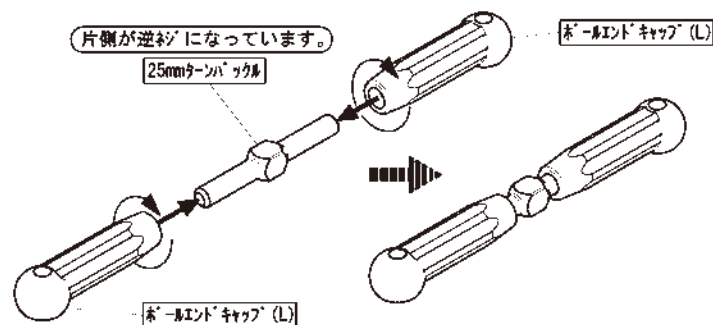
- ×4 M3×8 ボタンヘッドビス
- ×8 M3×8 皿ビス
- ×4 ショックキャップボール



【袋-⑨の内容】

- ×2 アルミカラー
- ×2 ロッドエンドボール(短)
- ×2 ロッドエンドボール
- ×8 ボールエンドキャップ(L)
- ×4 25mm ターンバックル

8 ショックタワー、アッパーアームの組立て

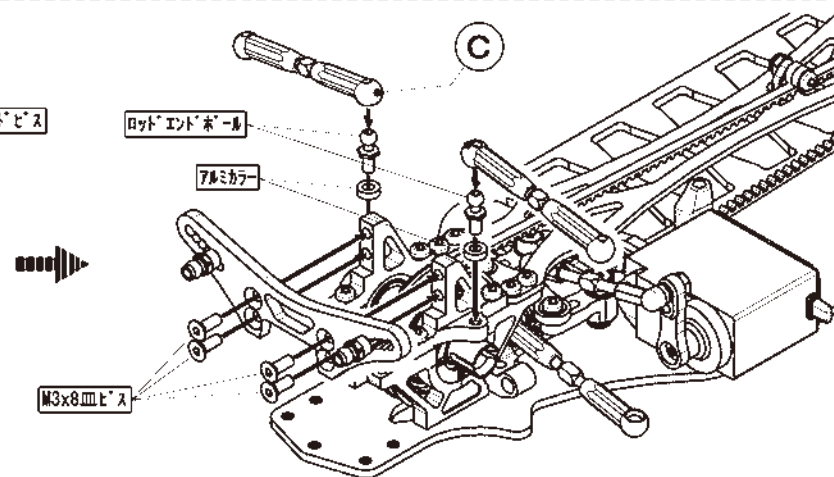
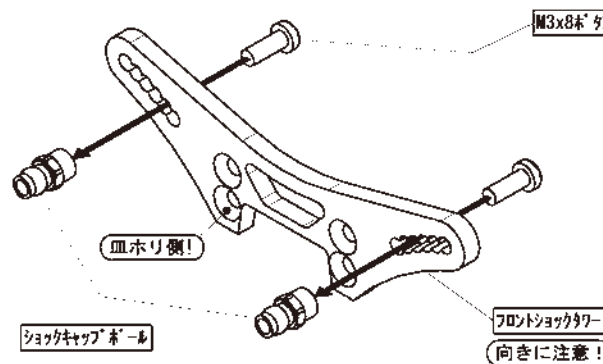


フロント用アッパーアーム
2ヶ作ります。

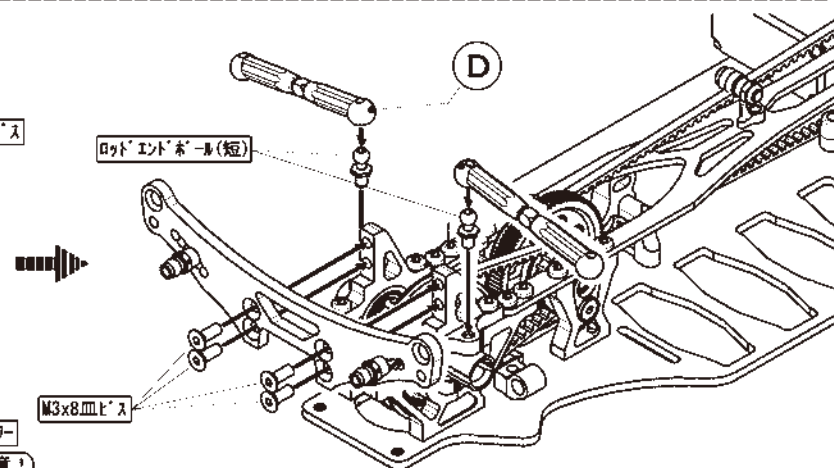
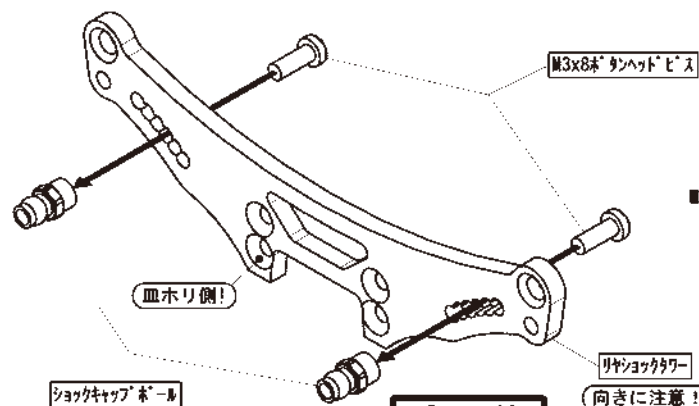


リア用アッパーアーム
2ヶ作ります。

フロントショックタワーの取付



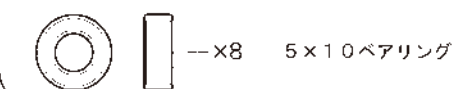
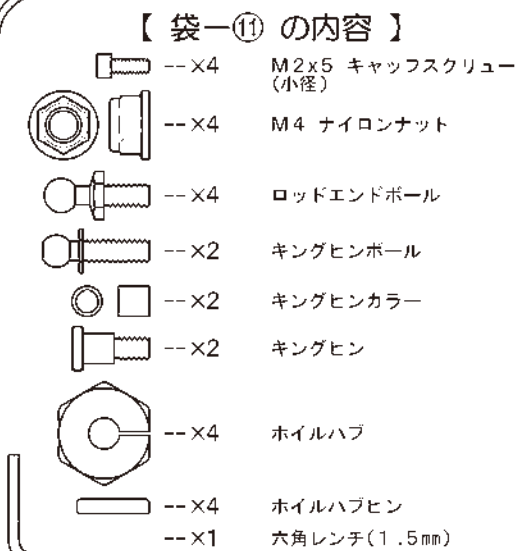
リヤショックタワーの取付



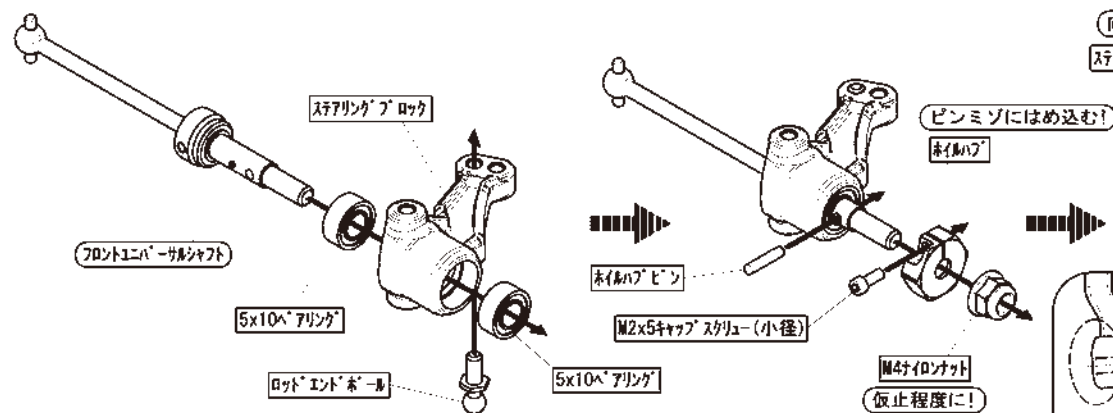
●部の穴を使用します。

●部の穴を使用します。

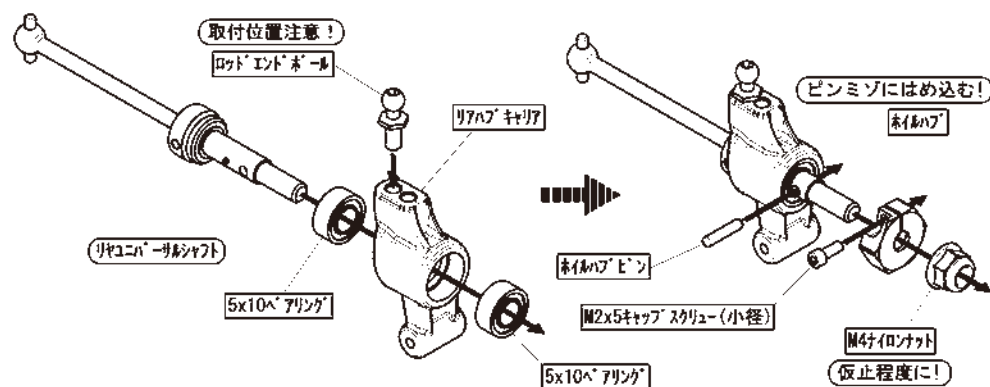
9 フロント&リアハブキャリアの組立て



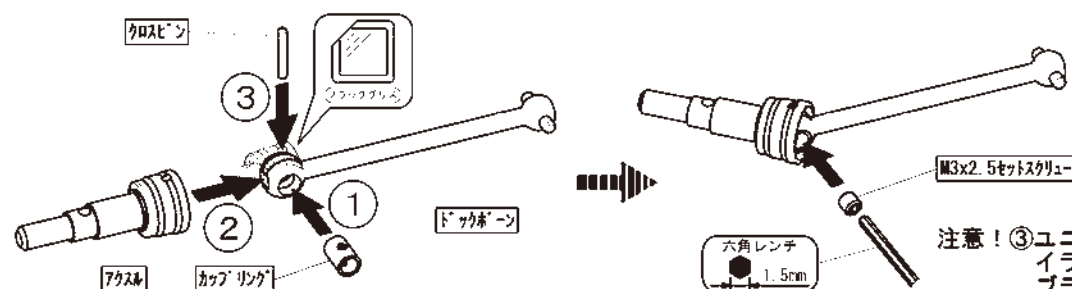
2セット作ります。(ステアリング・ハブ・キャリアには左右あり)



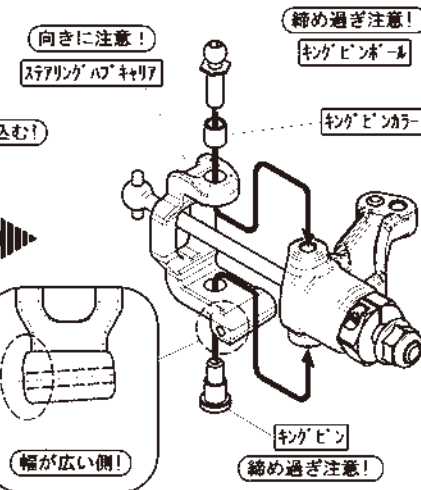
2セット作ります。



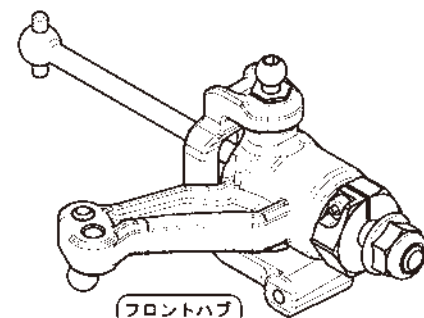
メンテナンスが必要な時に行ってください。



②(キングピン)を取付ける時はしめ込み過ぎないように注意して下さい。



【反対側も対称に組立てます。】



	ドックボーン
フロント用	4 5.5 mm
リア用	4 4 mm

※必ず表の組合せで組立てる事。

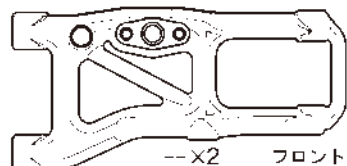
注意！③ユニバーサルシャフトを組立てる場合は左イラストを参照して下さい。その際必ずブラックグリスを塗って下さい。
分解する場合は逆の手順で行います。

【袋-12の内容】

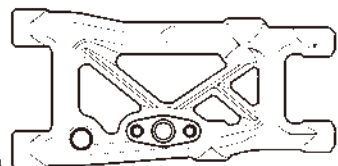
- ×4 M3×6 皿ビス
- ×4 M2×4 タッピングビス
- ×8 M2×5 キャップスクリュー
- ×4 M4×8 セットスクリュー
- ×4 M3×3 セットスクリュー
- ×4 ショックエンドボール
- ×4 スタビロッド
- ×4 スタビボール
- ×4 0.5mmカラー
- ×4 2mmカラー
- ×8 サスマウントボール

- ×4 アウターサスアームピン
- ×2 インナーサスアームピン(短)
- ×2 インナーサスアームピン(長)
- ×1 フロントサスマウント(F)
- ×1 リヤサスマウント(R)

- ×4 スタビロッドエンド
(両側オープンエンドを使用)
- ×4 スタビボールキャップ
(サスアームに付属)



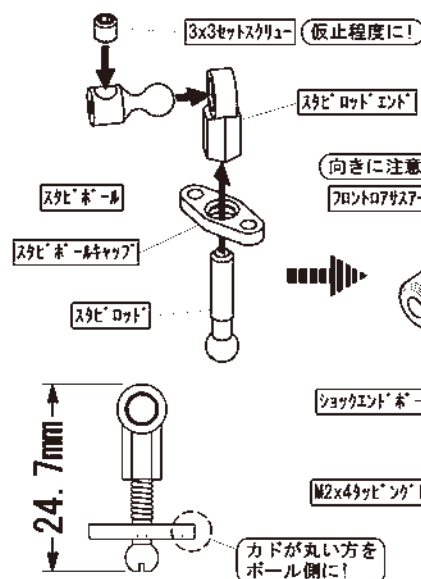
--×2 フロントロアサスアーム



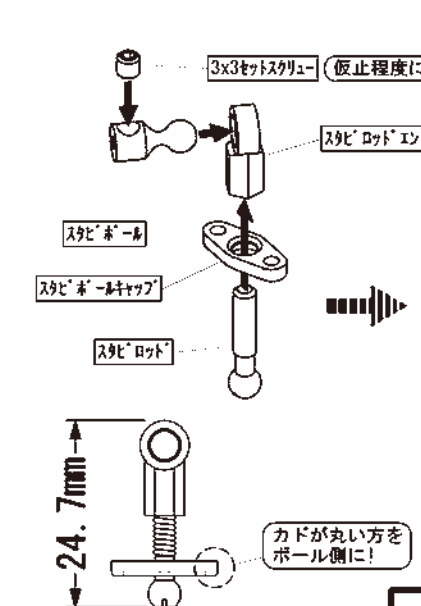
--×2 リヤロアサスアーム

10 ロアサスアームの組立て

フロント側の組立て

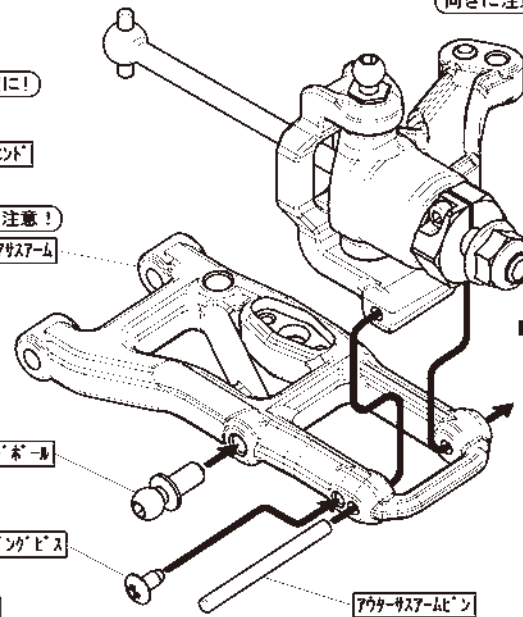


リヤ側の組立て



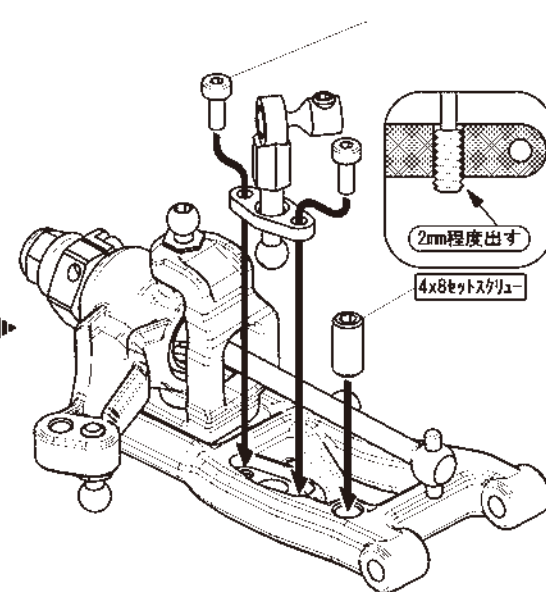
フロントハブキャリアASSY

(向きに注意!)



締め過ぎ注意!

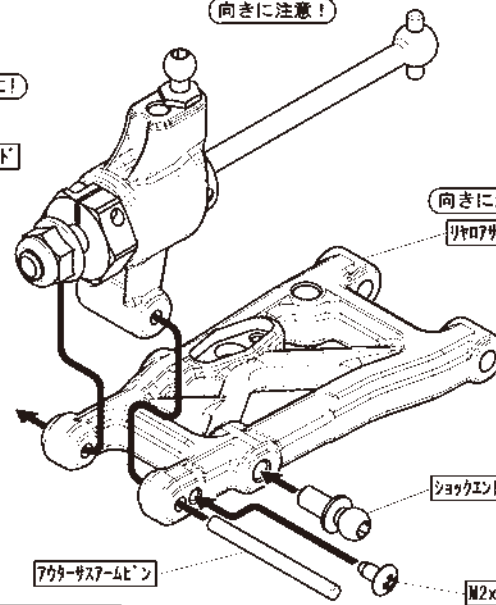
M2x5キャップスクリュー



【反対側も対称に組立てます。】

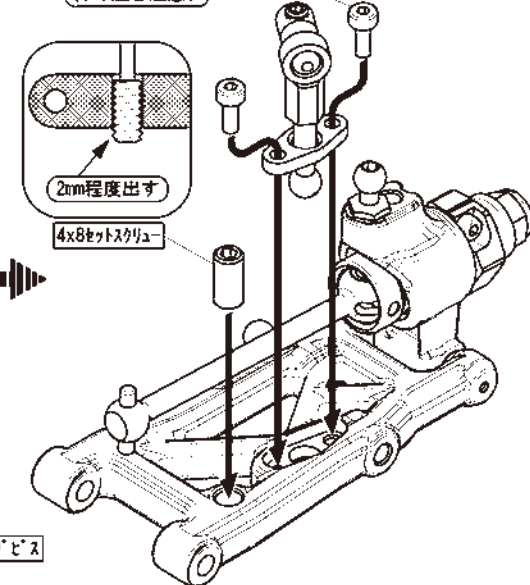
リヤハブキャリアASSY

(向きに注意!)



M2x5キャップスクリュー

締め過ぎ注意!



11 ロアサスアームの取付

フロント側の組立て

フロントサスアーム ASSY (R)

向きに注意!

向きに注意!

サスマウントボール

0.5mmカラー

フロントサスアーム ASSY (L)

向きに注意!

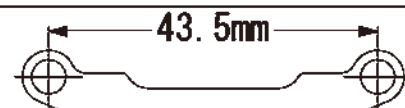
インナーサスマウント (短)

0.5mmカラー

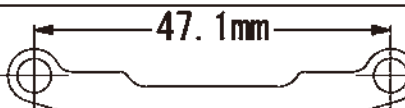
サスマウントボール

向きに注意!

フロントサスマウント (F)



F3.5=43.5mm



R7.1=47.1mm

リヤ側の組立て

リヤサスアーム ASSY (L)

向きに注意!

向きに注意!

サスマウントボール

2mmカラー

リヤサスアーム ASSY (R)

向きに注意!

M3x6mmビス

インナーサスマウント (長)

2mmカラー

サスマウントボール

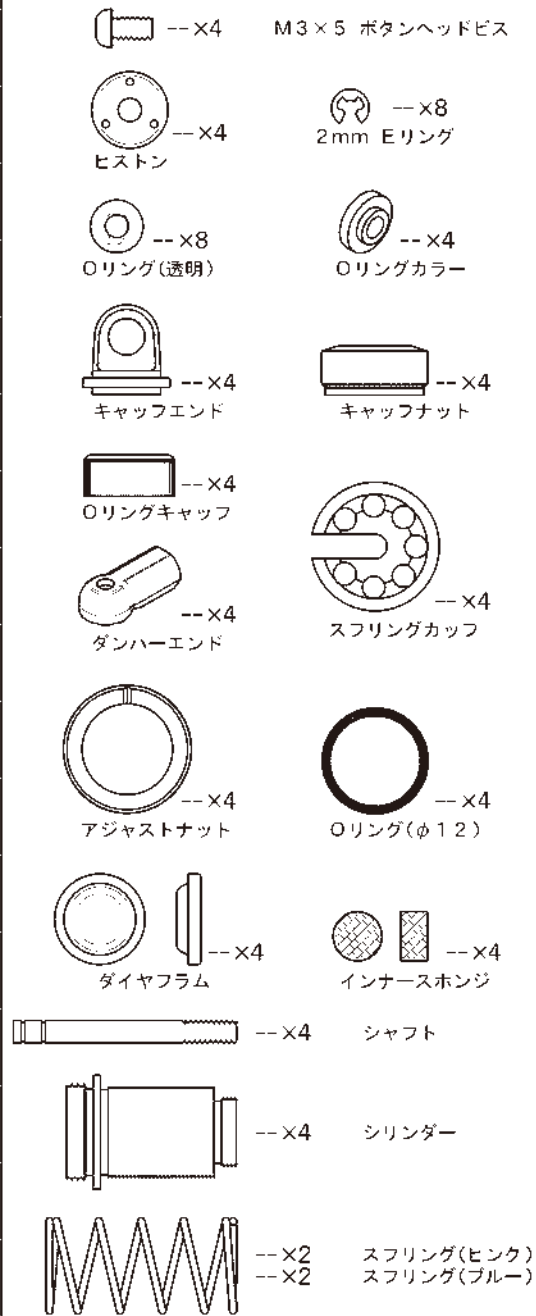
向きに注意!

リヤサスマウント (R)

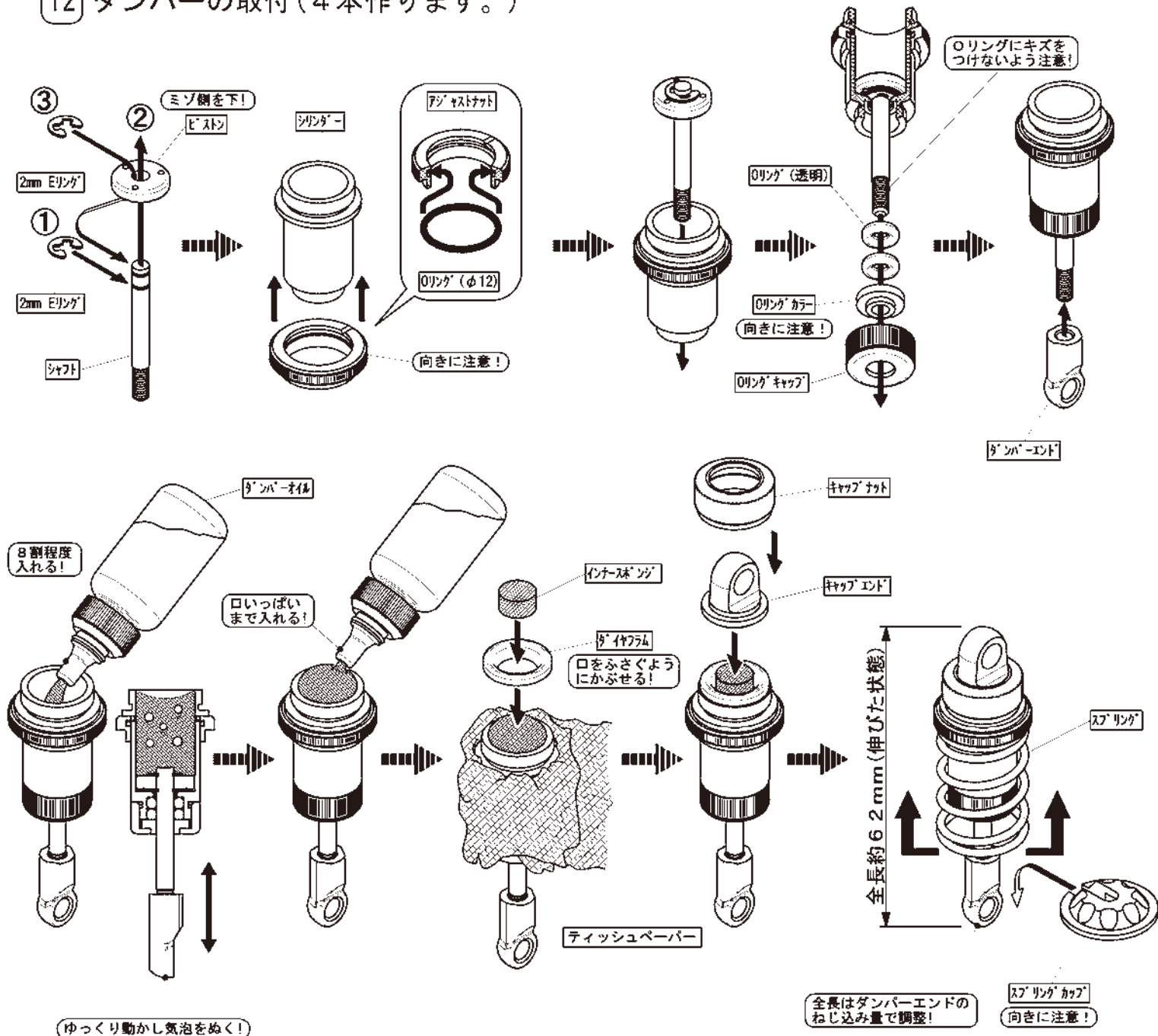
注意! ①ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ブラックグリス)を塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたロアサスアームには
左右の向きがあります。図を良く参照
し間違いの無い様に組立てて下さい。

【袋-13の内容】

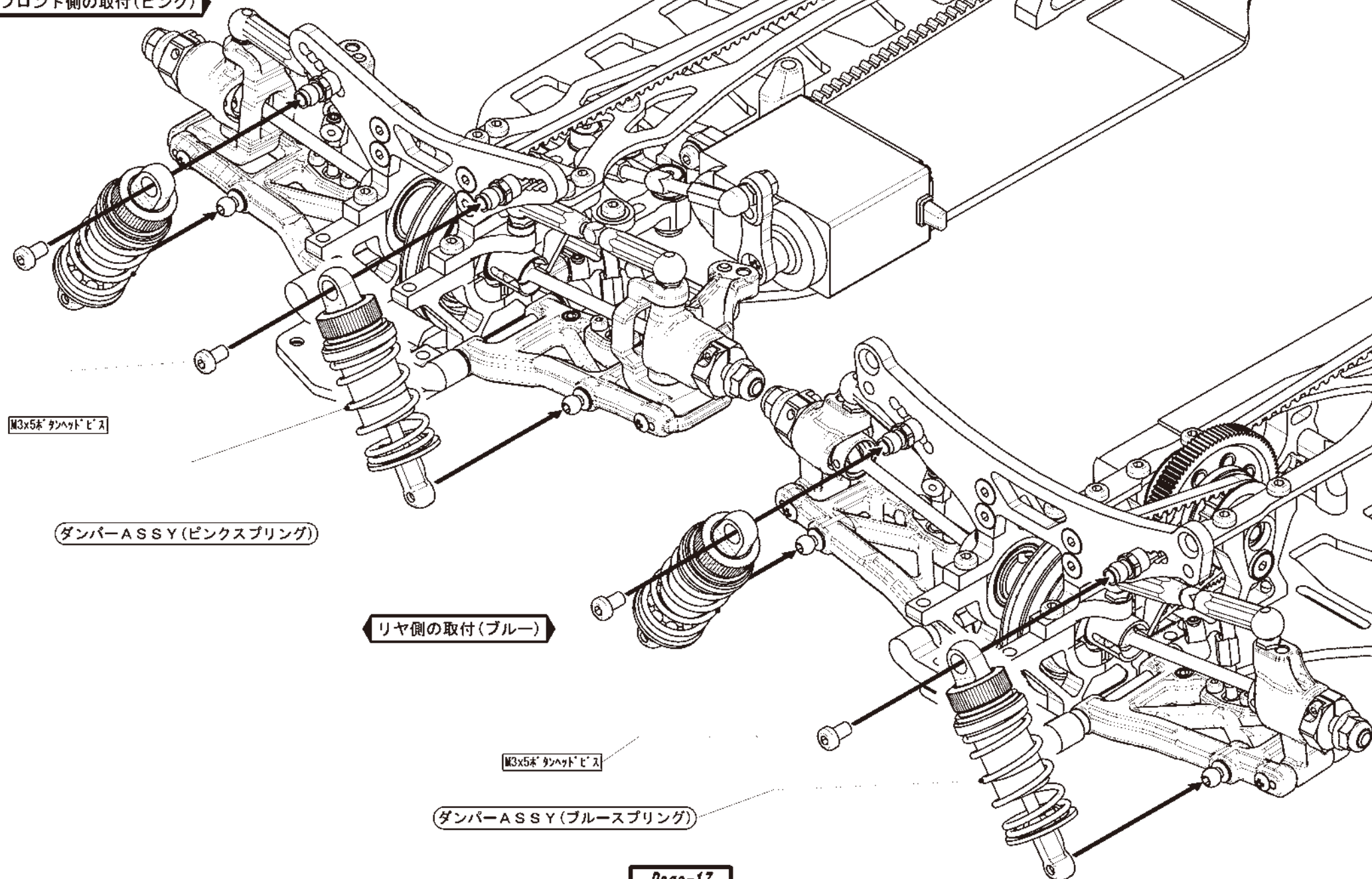


12 ダンパーの取付(4本作ります。)

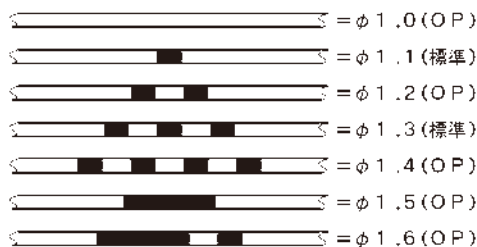
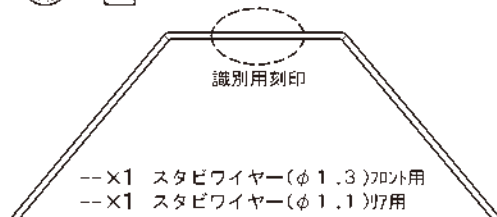
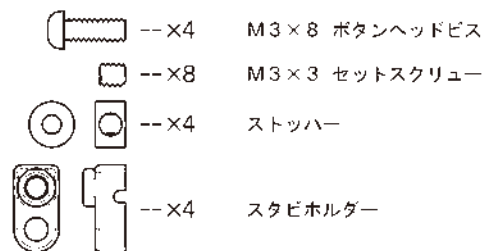


13 ダンパーの取付

フロント側の取付(ピンク)



【袋-14の内容】



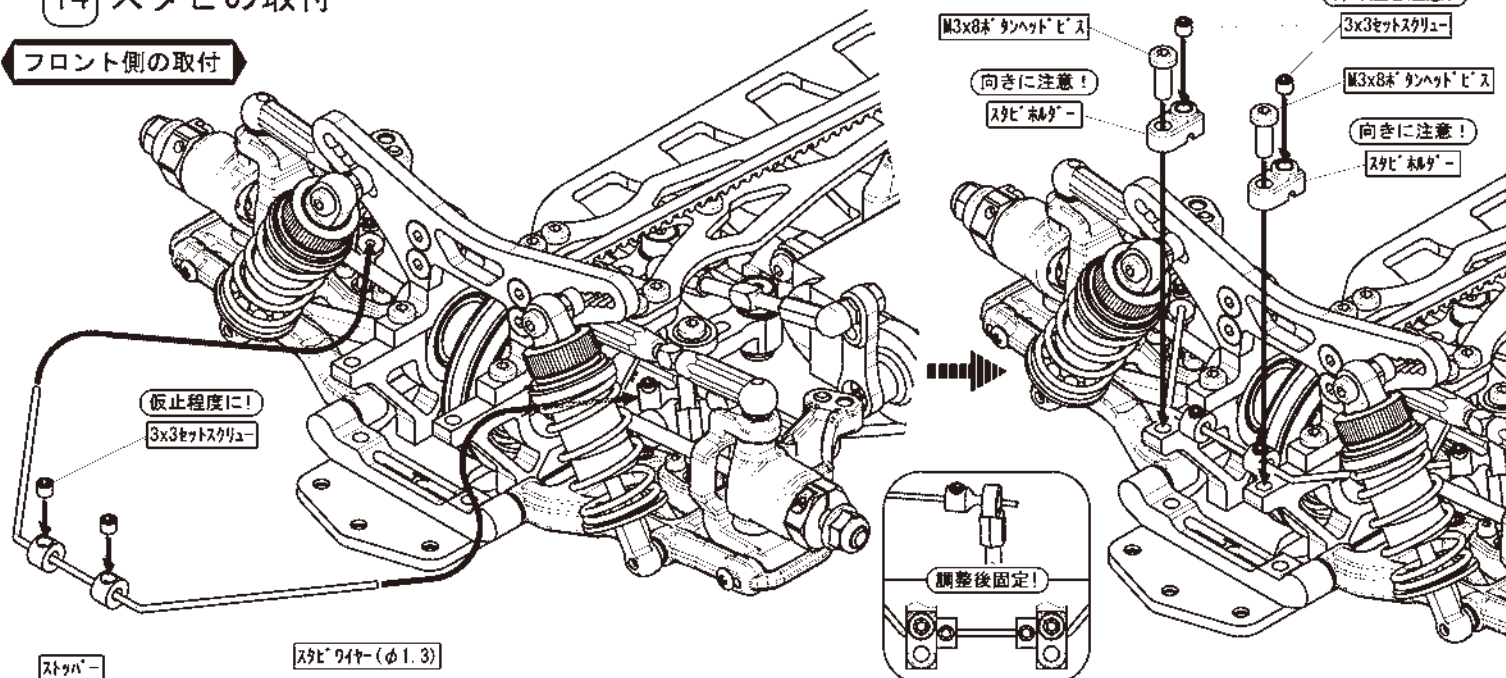
(OP) は別売りです。

スタビワイヤーをスタビボールに通した状態でスタビホルダーを固定します。ワイヤーが左右均等になるようにストッパーを固定し、ホルダーの3x3セットスクリューをワイヤーにガタが出ない程度ねじ込みます。スタビロッドがワイヤーに対して直角付近になるようにスタビボールの位置を調整し固定します。

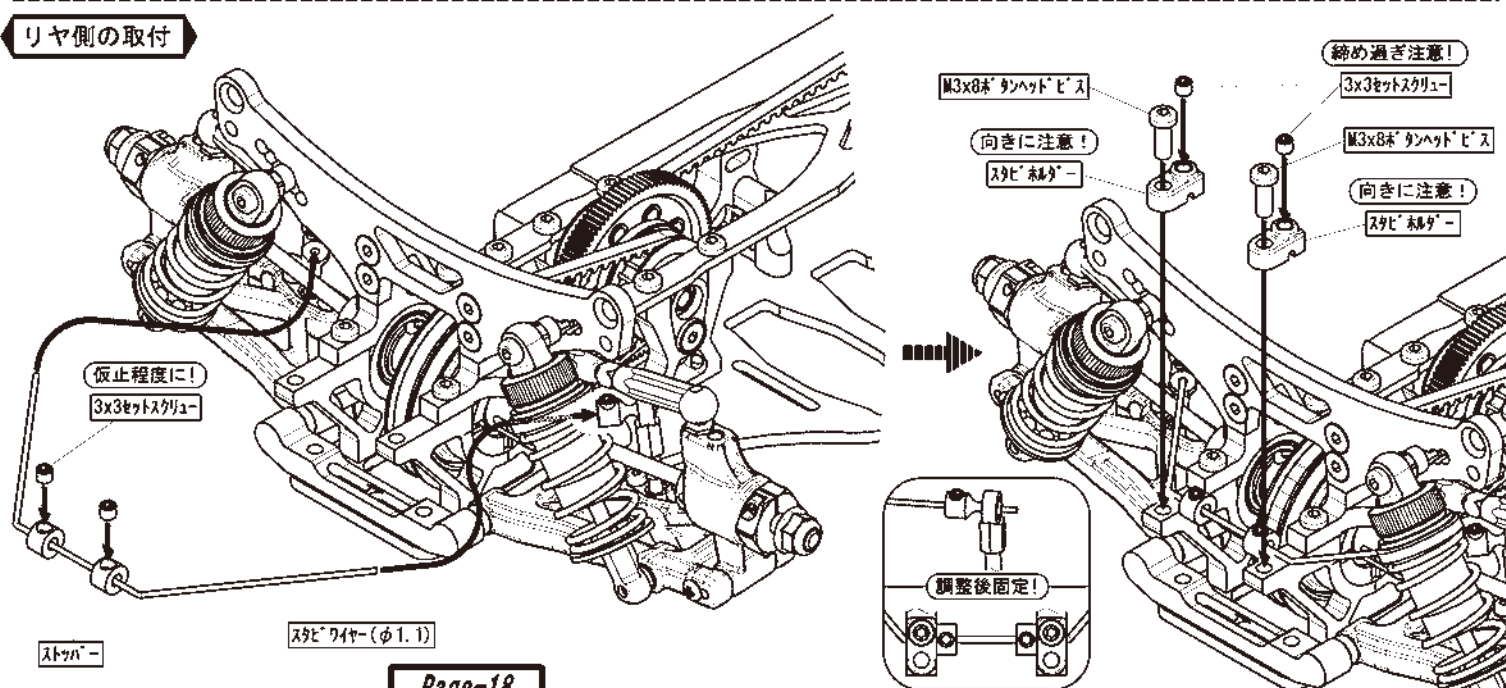
注意！スタビホルダーの3x3セットスクリューはしめ過ぎないで下さい。
 スタビの動きが悪くなり走行性能に影響します。

14 スタビの取付

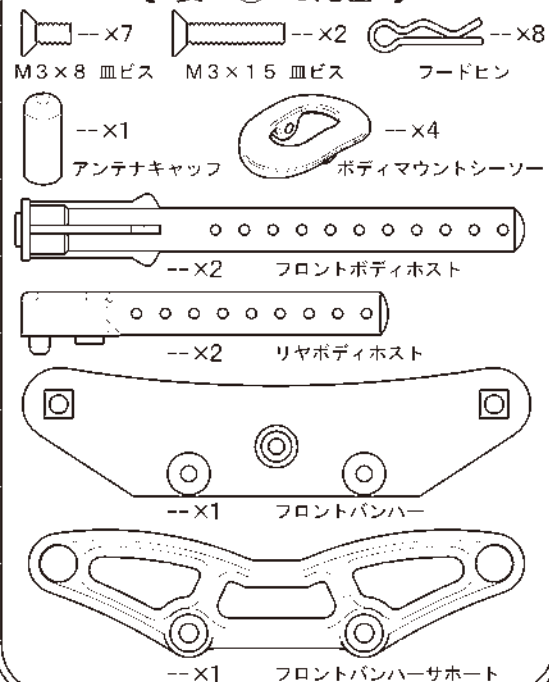
フロント側の取付



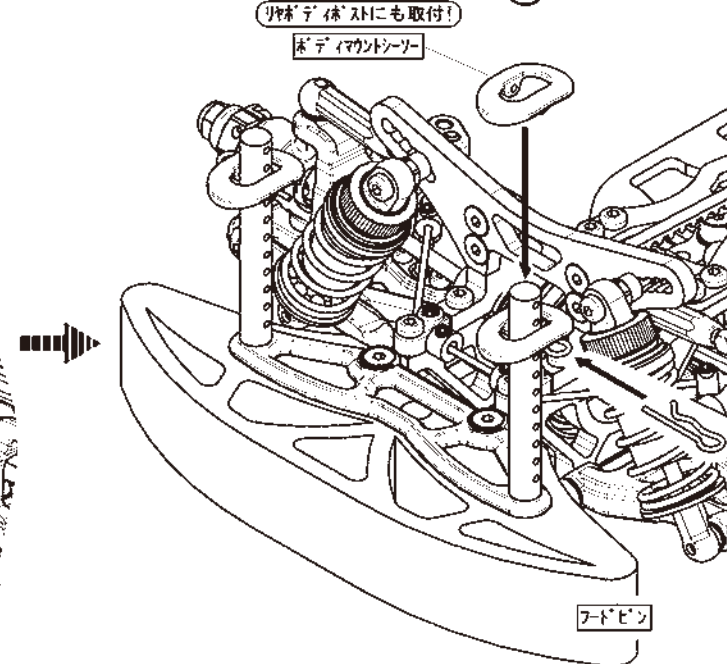
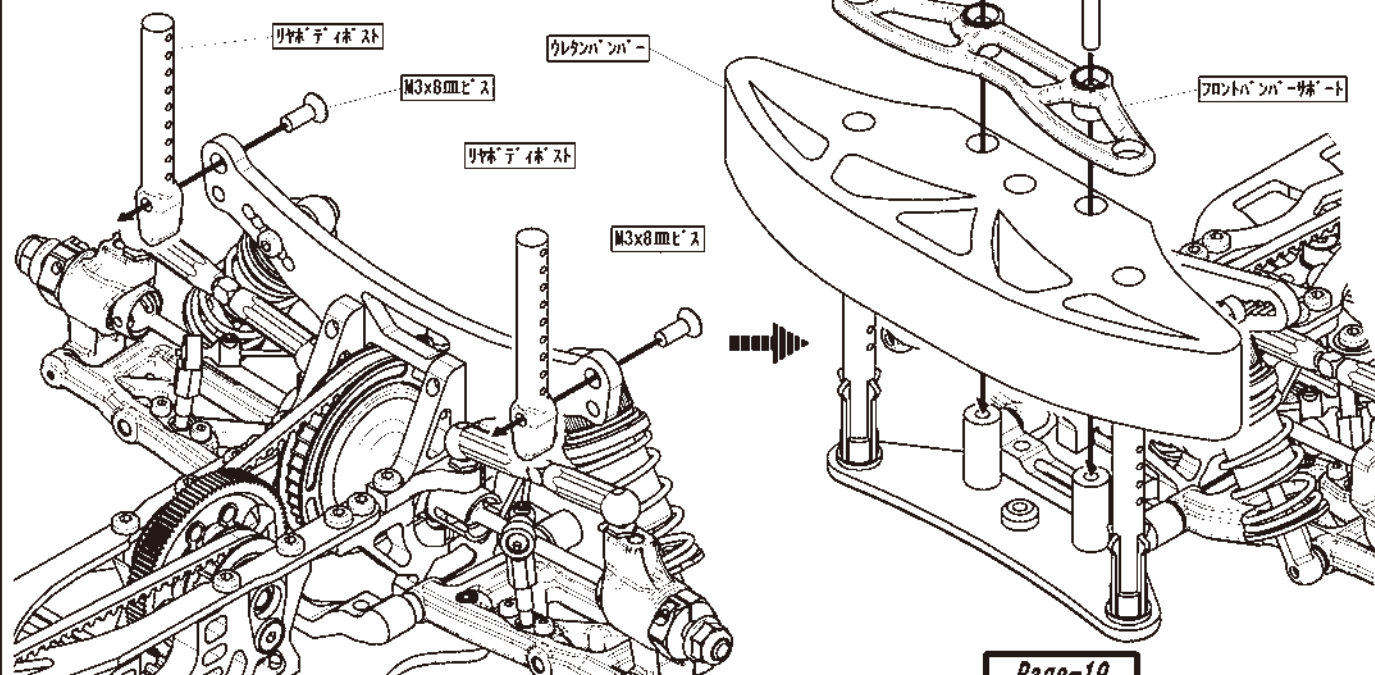
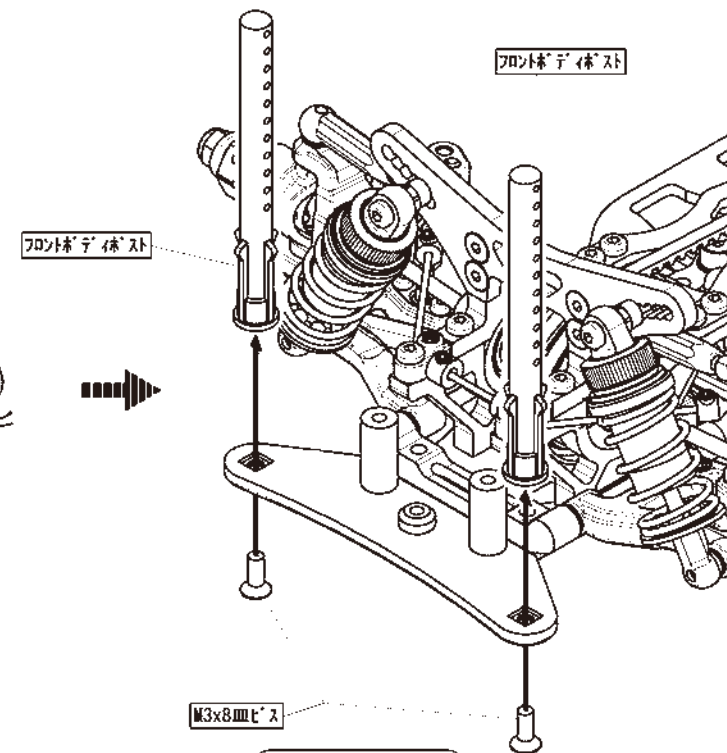
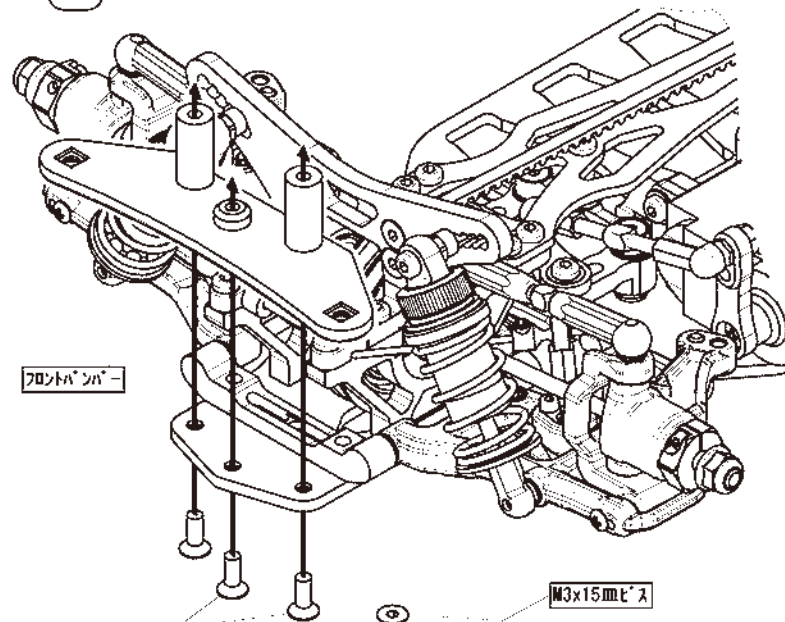
リヤ側の取付



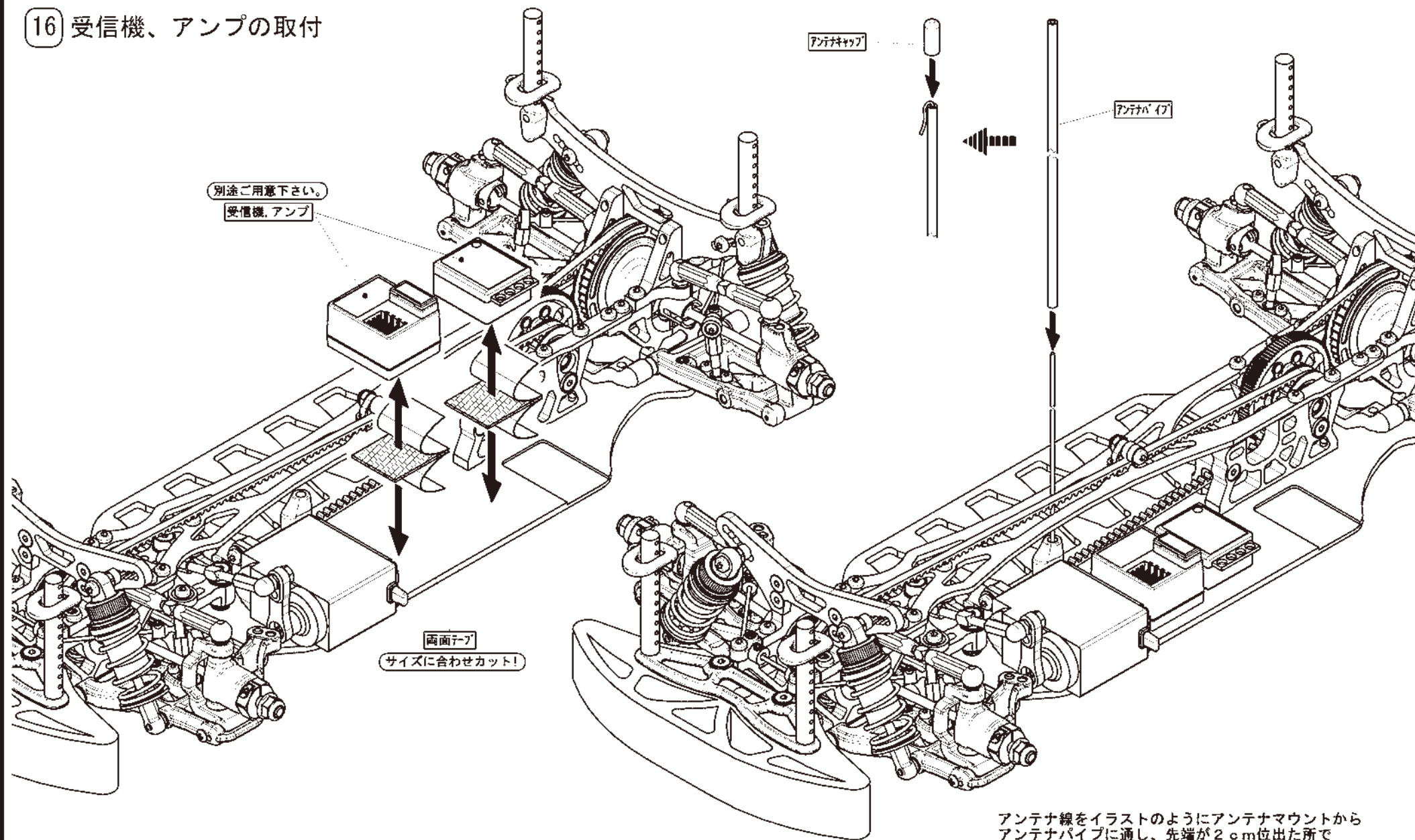
【 袋-15 の内容 】



15 バンパー、ボディポストの取付



16 受信機、アンプの取付

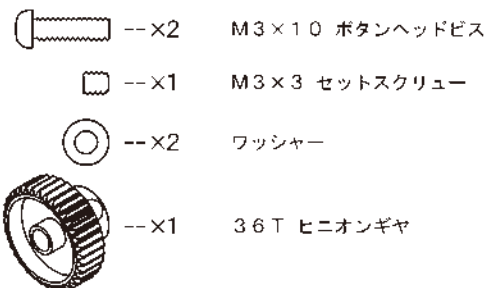


注意! ①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておく、はがれにくくなります。)

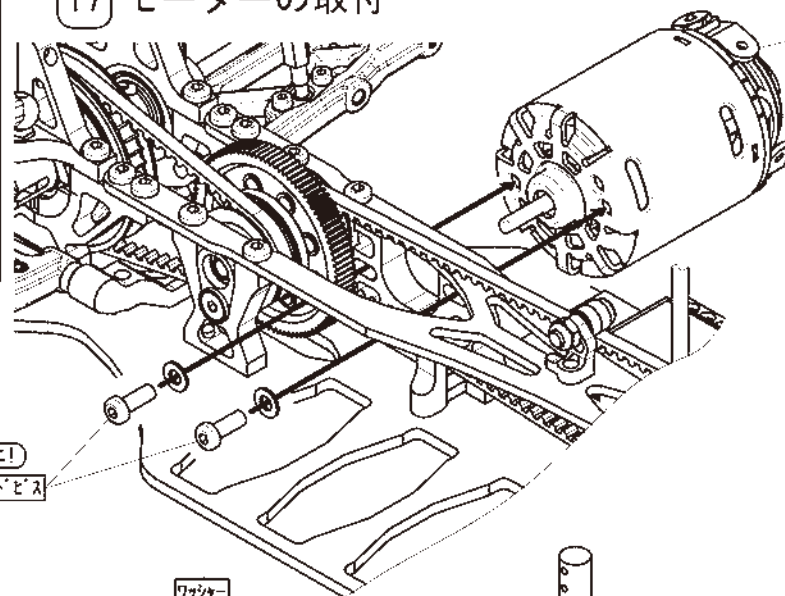
アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントからアンテナパイプに通し、先端が2 cm位出た所でアンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナキャップを被せて下さい。
(マウントへのさし込みがゆるい場合はゴム系接着剤などを塗って下さい。)

注意! ②余ったアンテナ線はフロントドライブベルトなどの稼働部分に触れない様に束ねて下さい。

【袋-16の内容】



17 モーターの取付



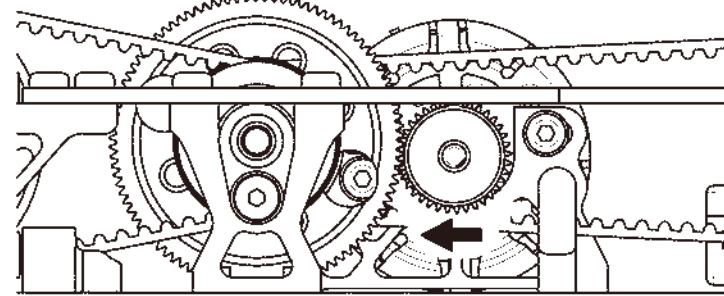
別途ご用意下さい。

モーター

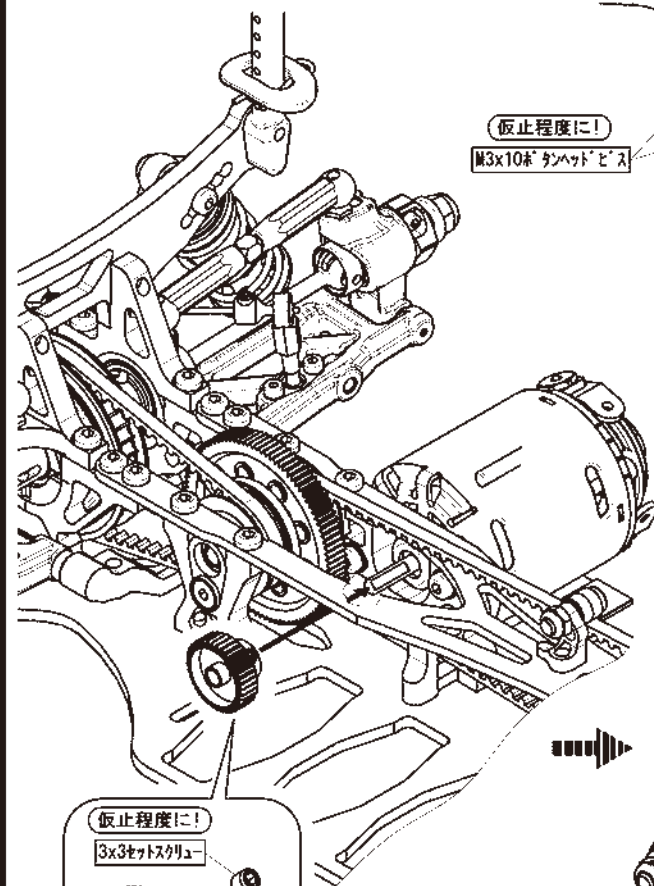
仮止程度に!
 M3x10の'ボタンヘッド'ビス

ワッシャー

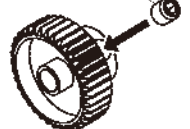
ギヤの穴から通す!



バックラッシュの調整はピニオンとかみ合わさった状態で
 スパーギヤがわずかに「カタカタ」と動く程度にして下さい。



仮止程度に!
 3x3セットスクリュ



36T ヒニオンギヤ

スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの位置を調整し、セットスクリュを本締めする。バックラッシュを合わせボタンヘッドビス2本を本締めする。

注意!

- ①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途ご用意下さい。
- ②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの「Dカット」されている部分に、セットスクリュが当たる様、しっかりと締め込んで下さい。
- ③バックラッシュは少し隙間が出る程度に調整して下さい。
 (調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)
- ④連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

18 タイヤの接着、タイヤの取付け

タイヤにインナースポンジを押込み、タイヤのリブをホイールのミゾにはめ込みます。
(ホイールはキット箱に入っています。タイヤ、インナースポンジは別途ご用意下さい。)

別途ご用意下さい。

タイヤ、インナースポンジ

ホイール

タイヤのサイドをめくり、ホイールとの隙間に
瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着します。

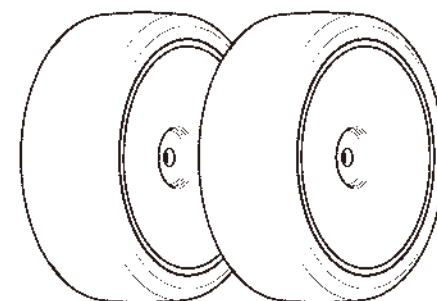
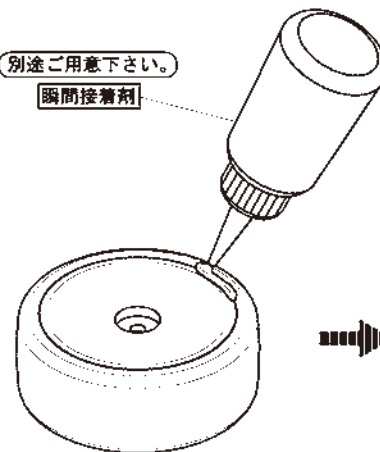
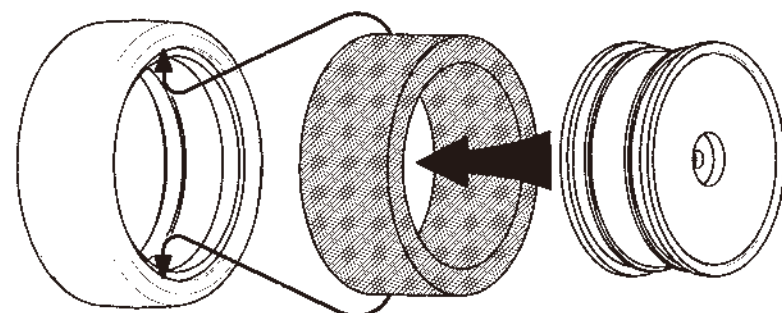
別途ご用意下さい。

瞬間接着剤

【取付け前にちょっと注目！】

各路面に対応できる、ホイール、インナースポンジ、
インナーモールドなどを各種ラインナップしております。

各商品の詳しい情報は「ヨコモ 総合カタログ」もしくは
「ヨコモホームページ <http://www.teamyokomo.com>」をご覧ください。



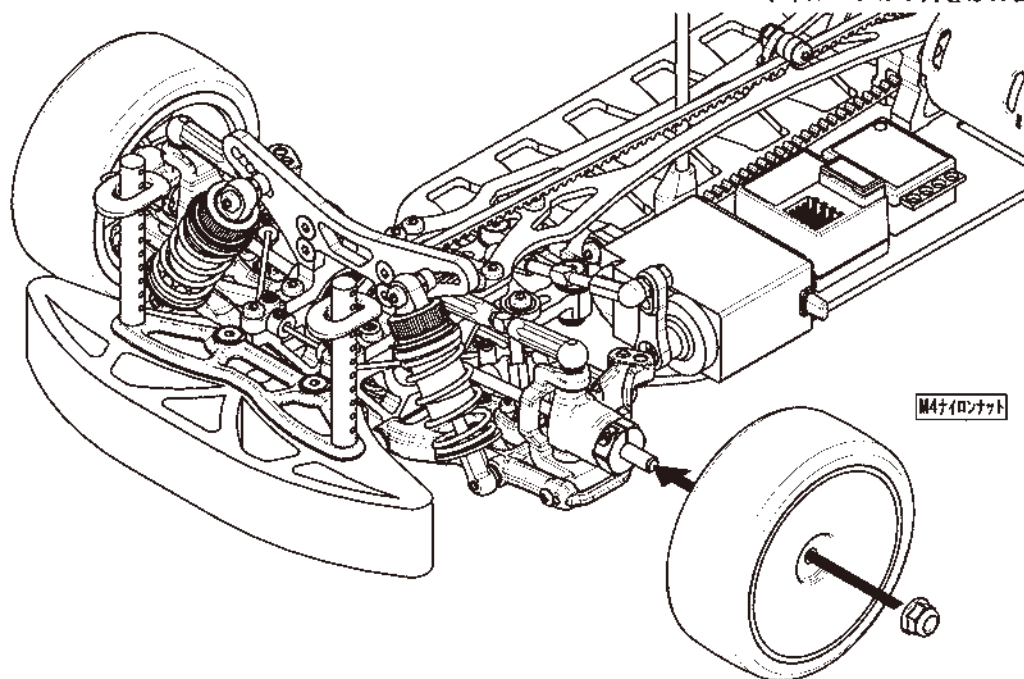
4本作ります。

フロント側

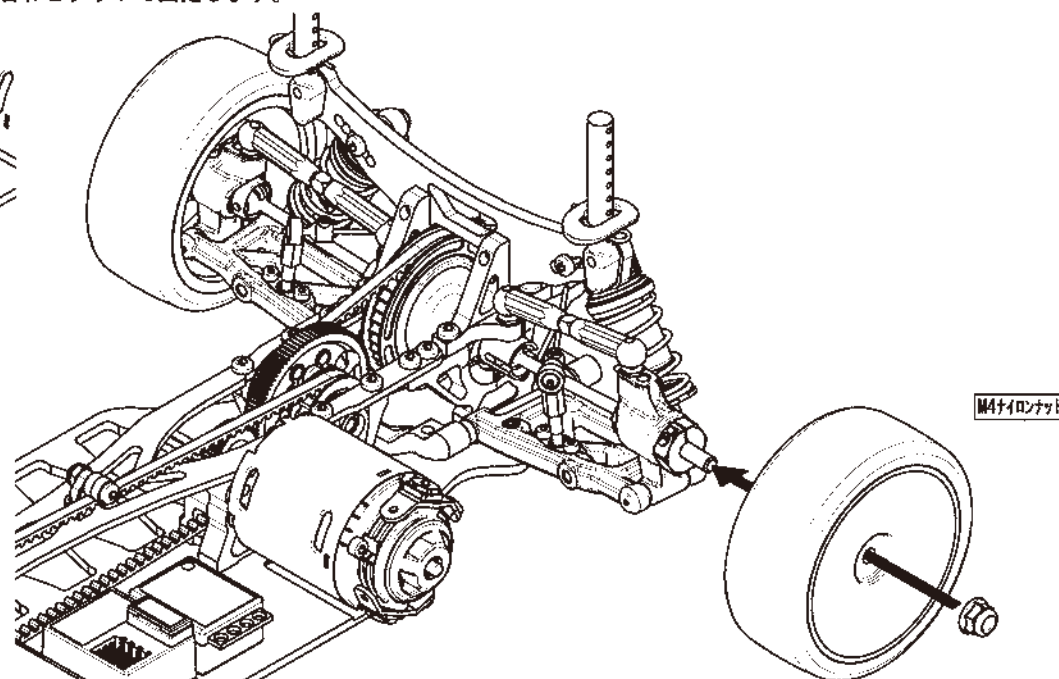
【反対側も同じ様に固定します。】

仮止めた(M4ナイロンナット)を外し、ホイールと
ホイールハブの6角をはめ合わせナットで固定します。

リア側

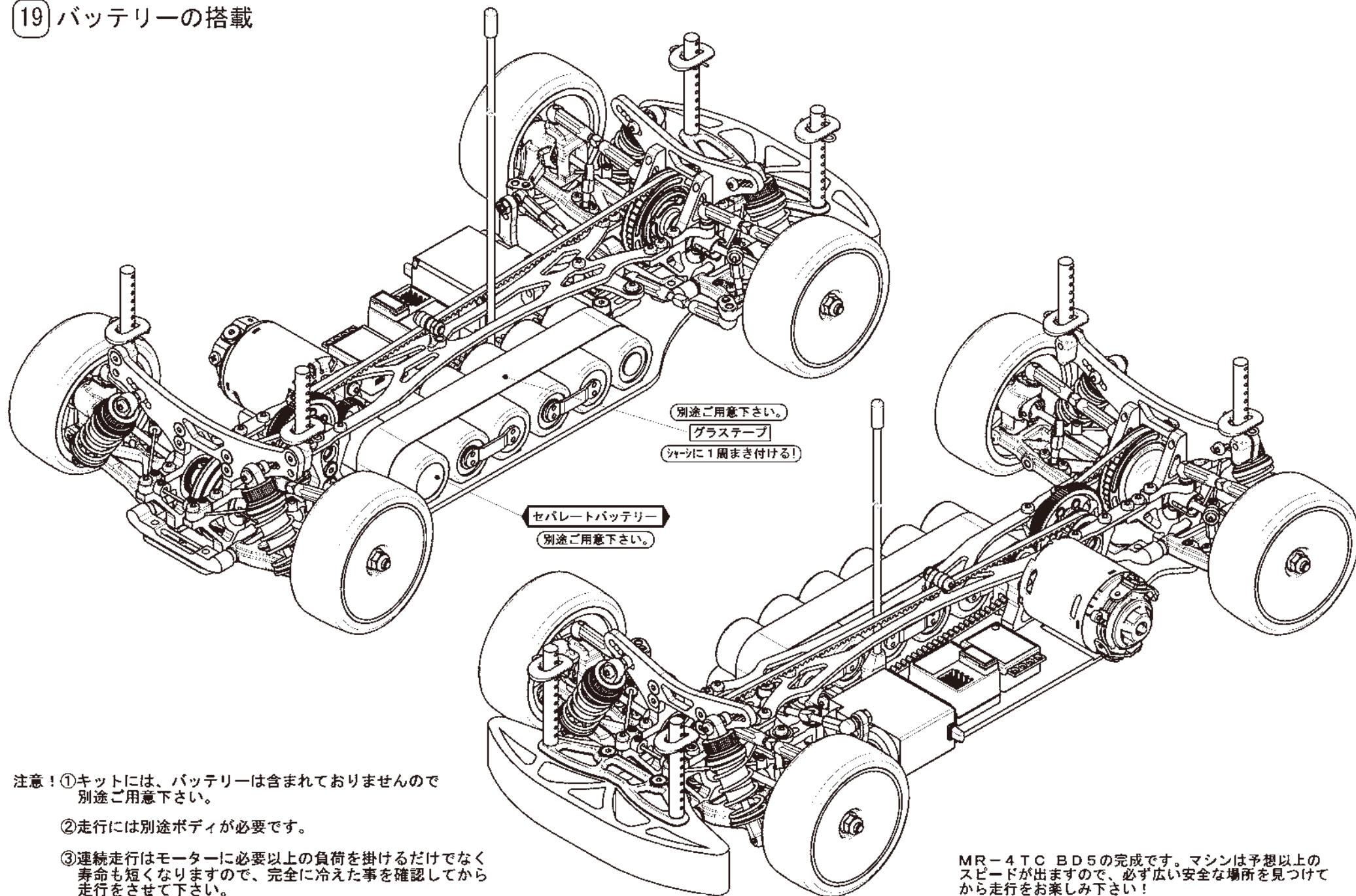


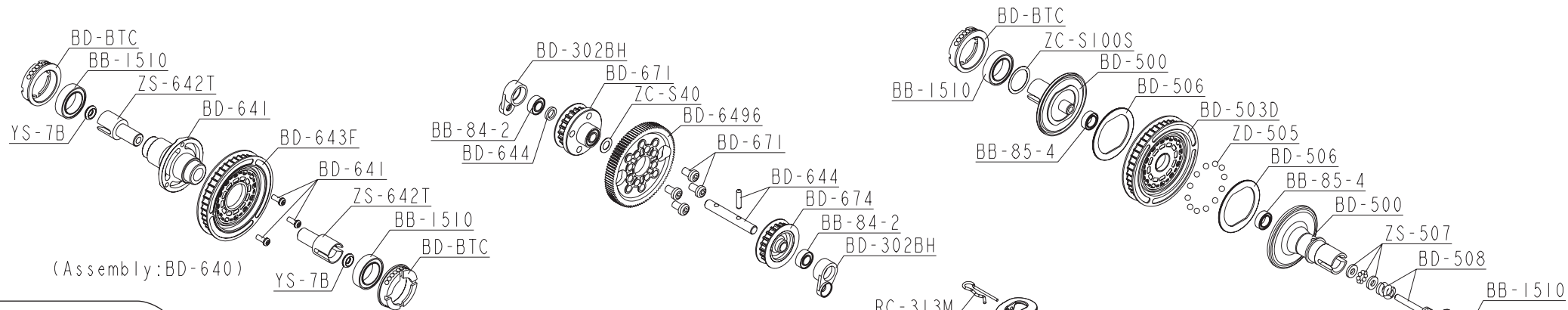
M4ナイロンナット



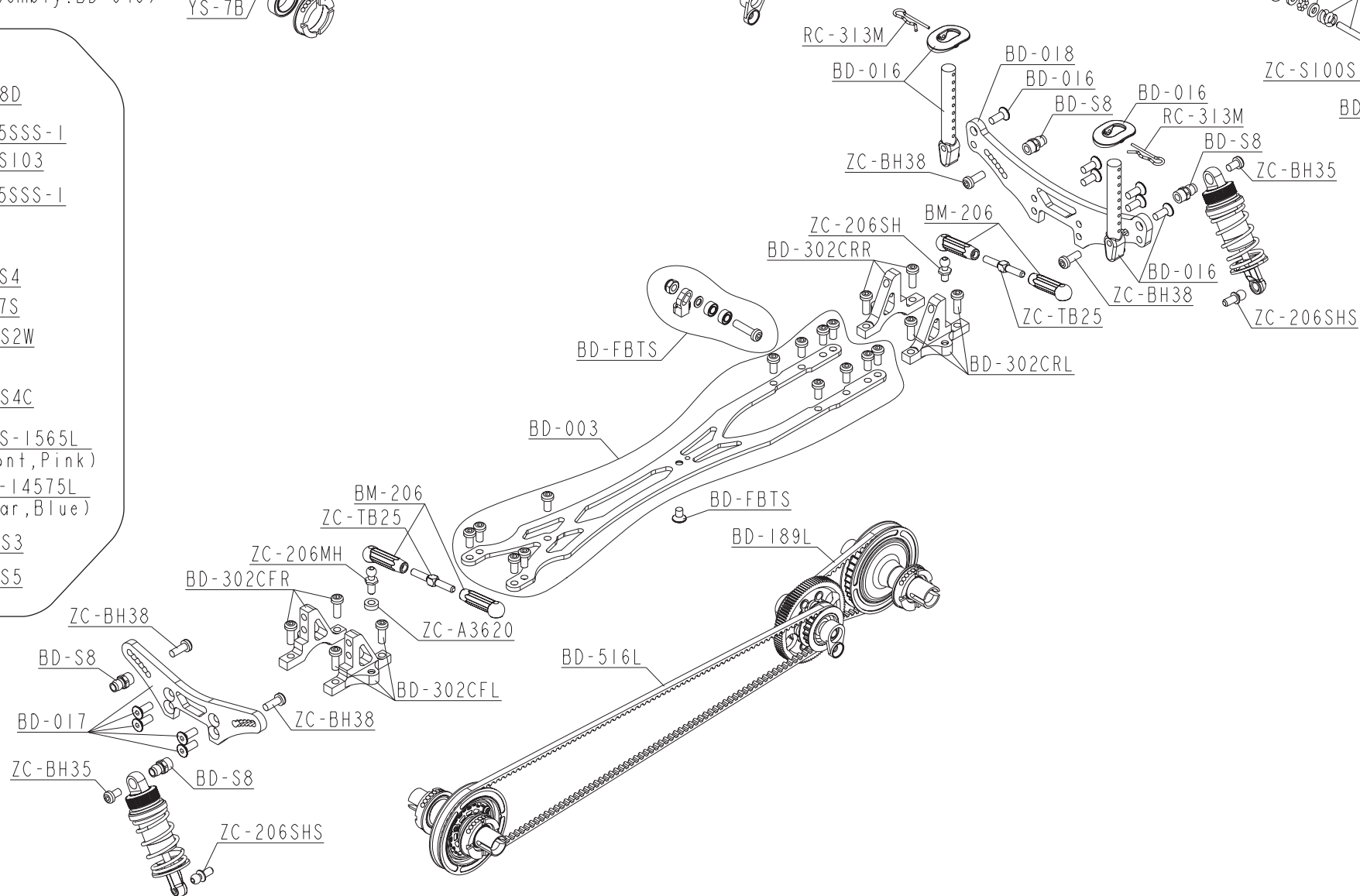
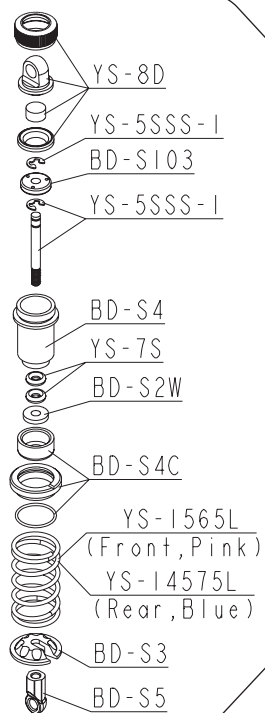
M4ナイロンナット

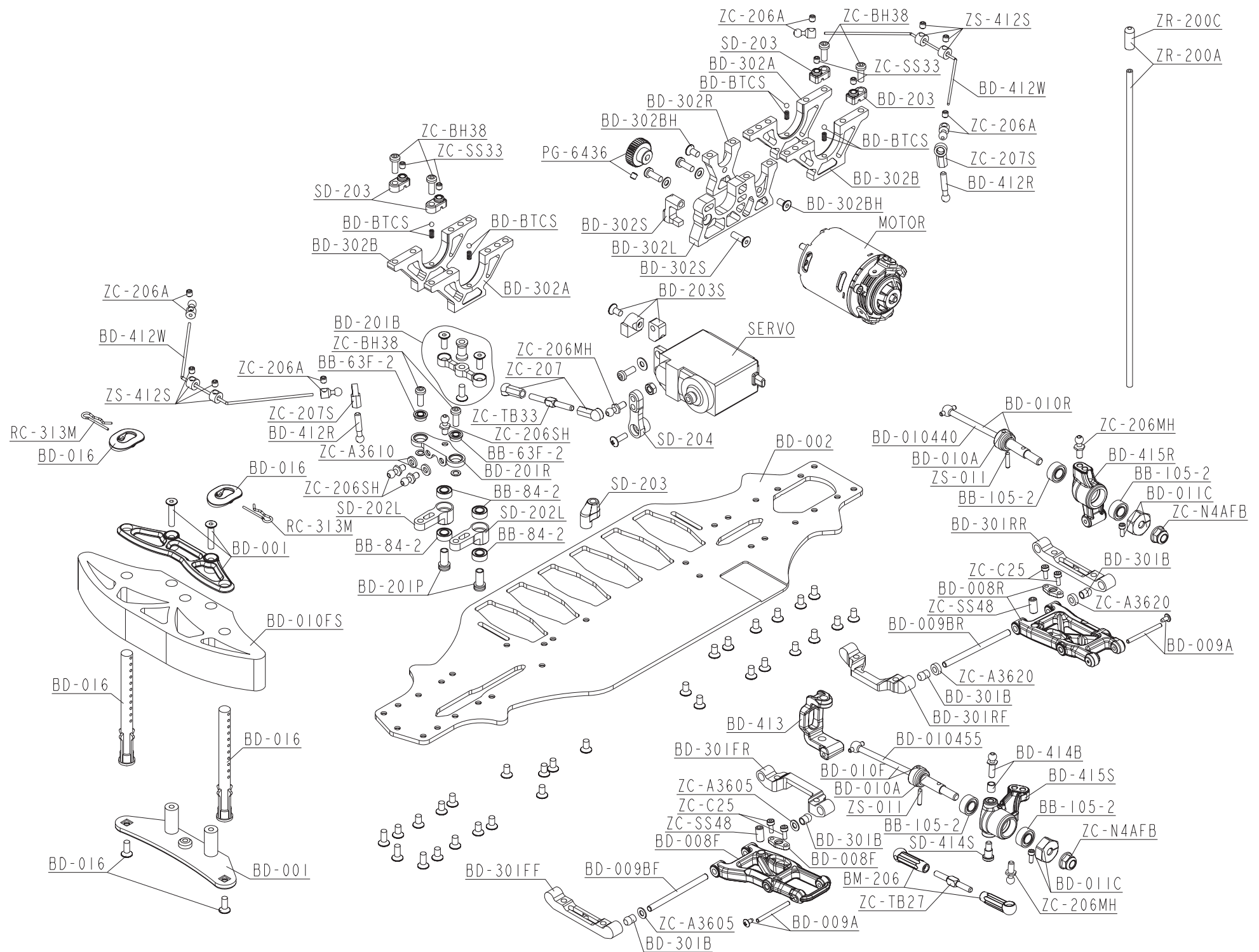
19 バッテリーの搭載





(Assembly: BD-640)





BBRS

SETTING SHEET

DRIVER . . . DATE . . .

CIRCUIT

☐ 環境

☐ インディア

☐ アウトドア

☐ 路面

☐ アスファルト

☐ コンクリート

☐ グリップ

☐ 高い

☐ 普通

☐ 路面状況

☐ フラット

☐ バンピー

☐ カーペット

FRONT

フロントデフ／Front Diff

☐ デフ

Diff

☐ スプール

Spool

☐ ワンウェイ

One-way

デフ

Diff

☐ 低

Low

☐ 高

High

ホイールハブ

Wheel Hubs

☐ 4.5 mm

☐ 5.0 mm

☐ 5.5 mm

ステアリングブロック

Steering Block

☐

バンブーステア

Bump Steer

mm

センターリンク／Center Link

mm

ホイールベース／Wheelbase

mm

サスブロック

Sus Block

FF

FR

mm

mm

スペーサー

Spacer

FF

FR

mm

mm

mm

mm

REAR

デフ

Diff

☐ 低

Low

☐ 高

High

ホイールハブ

Wheel Hubs

☐ 4.5 mm

☐ 5.0 mm

☐ 5.5 mm

ホイールベース／Wheelbase

mm

サスブロック

Sus Block

FF

FR

mm

mm

スペーサー

Spacer

FF

FR

mm

mm

mm

mm

OTHER

モーター

Motor

95 96 97

101 102 103 T

その他

T

スパーギア

Spur Gear

95 96 97

101 102 103 T

その他

T

ピニオンギア

Pinion Gear

ギア比

Gear Ratio

:

:

ボディ

Body

ウイング

Wing

バッテリー

Battery

アンブ

ESC

FRONT

タイヤ／Tire

硬度／Compound

インナー／Insert

ホイール／Wheel

トラクション／Tire Treatment

塗り

FL

FR

REAR

タイヤ／Tire

硬度／Compound

インナー／Insert

ホイール／Wheel

トラクション／Tire Treatment

塗り

RL

RR

AS A MANUFACTURER OF WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CARS,
YOKOMO WILL CONTINUE TO PROVIDE THE BEST AVAILABLE TECHNOLOGY TO R/C ENTHUSIASTS ALL OVER THE WORLD.
ENJOY THIS PRODUCT KNOWING THAT YOU ARE DRIVING ONE OF THE BEST HANDLING R/C CARS EVER DESIGNED.



世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界の R/C カーマニアに愛用されています。